

電気電子工学科の領域

電気電子工学科では,

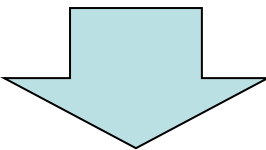
- (1) 半導体や誘電体, 磁性体, 超伝導体などの電子材料に関する基礎科学や,
ナノテクを応用した新しい光・電子デバイスの創製や集積技術,
- (2) それらを応用した計測・制御や情報・通信・メディア・ネットワークに関する
ハードウェアとソフトウェアの技術,
- (3) 電気エネルギーの生成と伝送, 利用にかかわる個々の要素や
システムに関する理論と実用技術,

という3つの幅広い学術分野にわたって, 基礎から応用までの総合的な教育を行っています。

電気電子工学科のあゆみ

年表

1898年（明治31年）6月	電気工学科創設	京都大学創立の翌年に創設
1954年（昭和29年）	電子工学科発足	全国で初めて設置された電子工学科
1961年（昭和36年）	電気工学第二学科発足	関連分野の進歩に伴い新設
1970年（昭和45年）	情報工学科新設	関連分野の進歩に伴い新設
1971年（昭和46年）	電気系3学科改組	電気工学、電子工学、電気工学第二の3学科の枠組みの中で改組
1995年（平成7年）	電気電子工学科統合	大学院重点化への流れの中で、電気系学科は電気工学専攻、電子物性工学専攻、電子通信工学専攻の3専攻の大学院組織に再編成。教員は大学院に所属。



現在、工学研究科の電気工学専攻・電子工学専攻，情報学研究科の通信情報システム専攻ほかの3専攻，エネルギー科学研究科のいくつかの専攻，ならびに関連する研究所やセンターなどに所属する教員が，相互に協力しながらそれぞれの専門に応じて教育を担当しています。

教員数約120名：一学年の学生数に匹敵

電気電子工学科の理念と教育方針

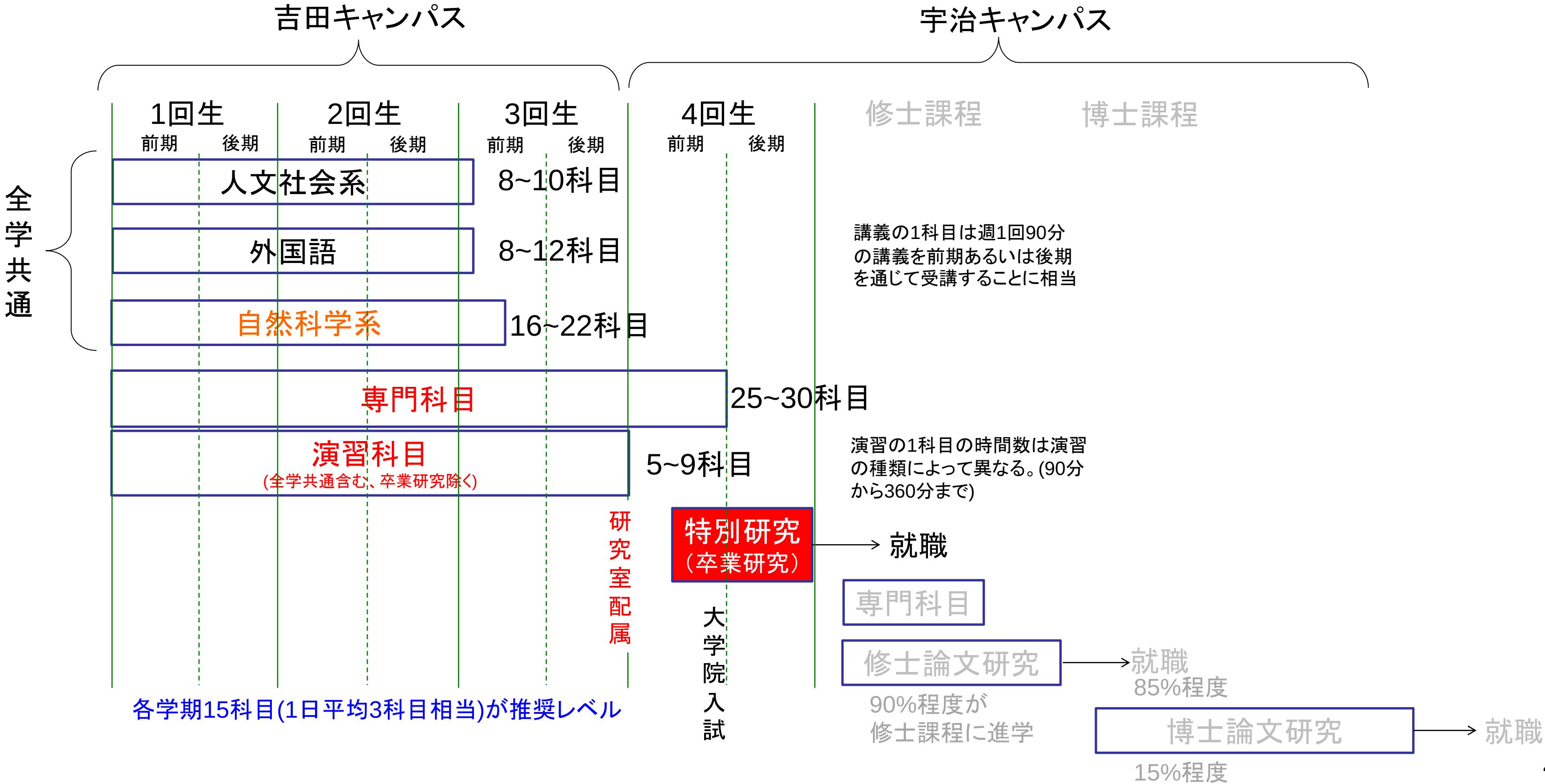
電気電子工学科の理念は、「21世紀のエネルギーと情報社会をハードとソフトで支える」ことです。この理念に従って、電気電子工学科は電気電子工学の急速な進歩と高度情報社会に対処できる**幅広い専門知識**を教授して、**十分な基礎学力を修得した人材を育成すること**を目標としています。

このためには、幅広い分野の専門的な知識・能力を有し、目的に合った**理論を深く追求するとともにその実際的な応用を探求**できる研究者・技術者、その逆に**実際的な応用研究からその奥にひそむ理論の構築**ができる研究者・技術者を養成することが必要です。

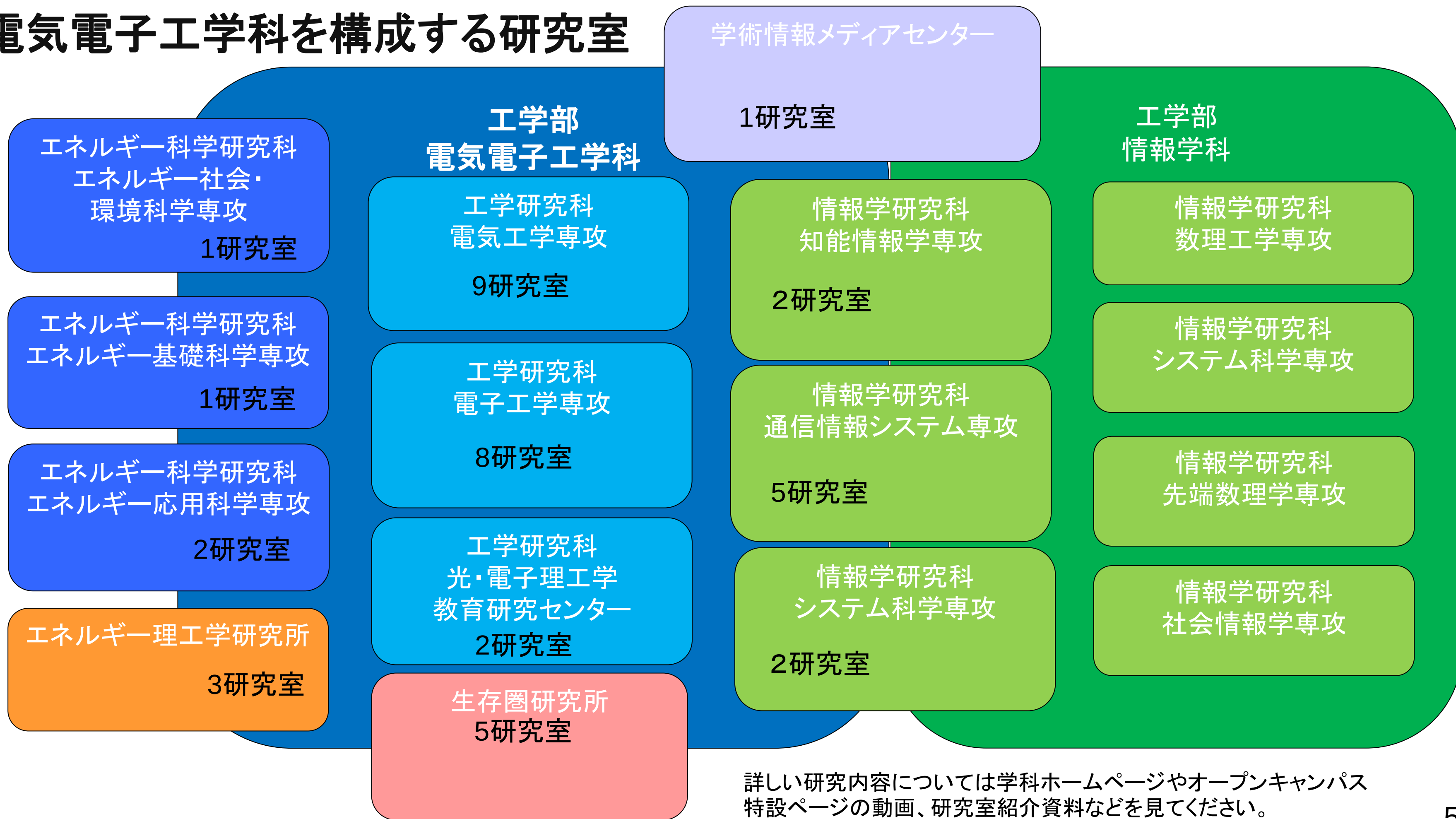
特に学部教育においては、**系統的な専門的基礎知識の修得と、その総合による論理的思考力、応用力、問題解決能力を養うことに重点を置いています。**

教育方法に関しては、**講義内容をより深く理解させるために演習、実験、実習を実施し、学生の専門領域に対する興味を喚起すると同時に、幅広い専門知識を修得させるために、自らが考える自主的な学習を促すこと**を目標としています。

4年間の教育の全体の流れ(科目数は目安)

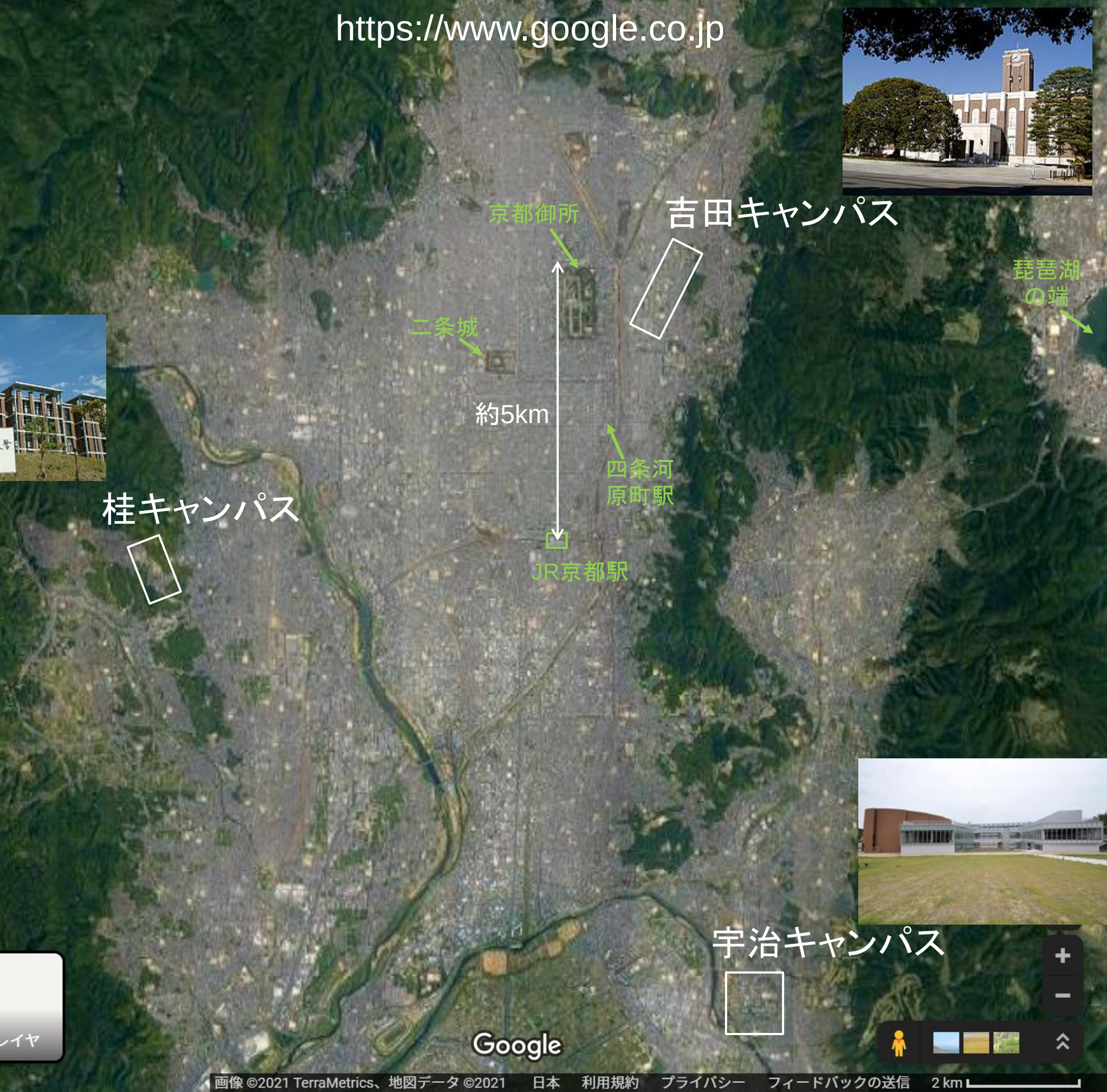


電気電子工学科を構成する研究室



地図でみると

<https://www.google.co.jp>



工学研究科 電気工学専攻

- 先端電気システム論講座
- システム基礎論講座自動制御工学分野
- システム基礎論講座システム創成論分野
- 生体医工学講座複合システム論分野
- 生体医工学講座生体機能工学分野
- 電磁工学講座超伝導工学分野
- 電磁工学講座電磁回路工学分野
- 電磁工学講座電磁エネルギー工学分野
- 優しい地球環境を実現する
- 先端電気機器工学講座

電子工学専攻

- 集積機能工学講座
- 電子物理工学講座極微電子工学分野
- 電子物理工学講座応用量子物性分野
- 電子物性工学講座半導体物性工学分野
- 電子物性工学講座電子材料物性工学分野
- 量子機能工学講座光材料物性工学分野
- 量子機能工学講座光量子電子工学分野
- 量子機能工学講座量子電磁工学分野

光・電子理工学教育研究センター

- ナノプロセス部門ナノプロセス工学分野
- デバイス創生部門先端電子材料分野

吉田キャンパス

京都御所

二条城

約5km

四条河原町駅

JR京都駅

琵琶湖の端

桂キャンパス

宇治キャンパス

情報学研究科 知能情報学専攻

- 知能メディア講座言語メディア分野
- 知能メディア講座コンピュータビジョン分野

通信情報システム専攻

- 通信システム工学講座デジタル通信分野
- 通信システム工学講座伝送メディア分野
- 通信システム工学講座知的通信網分野
- 集積システム工学講座情報回路方式分野
- (集積システム工学講座大規模集積回路分野)
- 集積システム工学講座超高速信号処理分野

システム科学専攻

- システム情報論講座論理生命学分野
- システム情報論講座医用工学分野

学術情報メディアセンター

- 教育支援システム研究部門遠隔教育
- システム研究分野

エネルギー科学研究科

エネルギー社会・環境科学専攻

- エネルギー社会環境学講座エネルギー情報学分野

エネルギー応用科学専攻

- エネルギー材料学講座エネルギー応用基礎学分野
- エネルギー材料学講座プロセスエネルギー学分野

エネルギー科学研究科

エネルギー基礎科学専攻

- エネルギー物理学講座電磁エネルギー学分野

エネルギー理工学研究所

- エネルギー生成研究部門
- プラズマエネルギー研究分野
- エネルギー生成研究部門複合系プラズマ研究分野
- エネルギー機能変換研究部門ナノ光科学研究分野

生存圏研究所

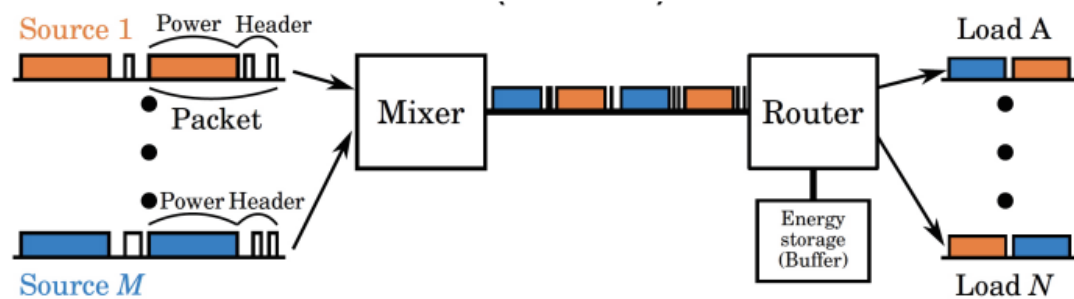
- 生存圏診断統御研究系レーダー大気圏科学分野
- 生存圏診断統御研究系大気圏精測診断分野
- 生存圏開発創成研究系宇宙圏電磁環境探査分野
- 生存圏開発創成研究系生存科学計算機実験分野
- 生存圏開発創成研究系生存圏電波応用分野

これらの研究室では、 いったいどんな研究をしているのか？

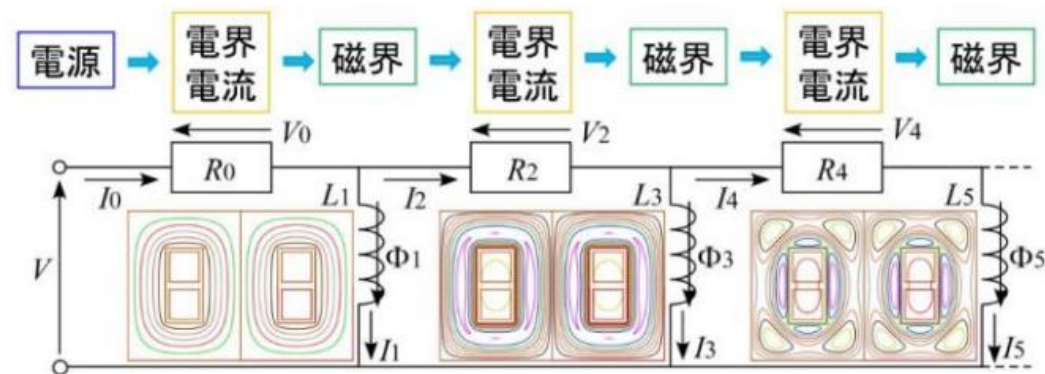
詳細に話している時間はないので、研究のキーワードのごく一部とそれに関連したサムネイル画像だけ見せます。

詳しい研究内容については学科ホームページやオープンキャンパス特設ページの動画、研究室紹介資料などを見てください。

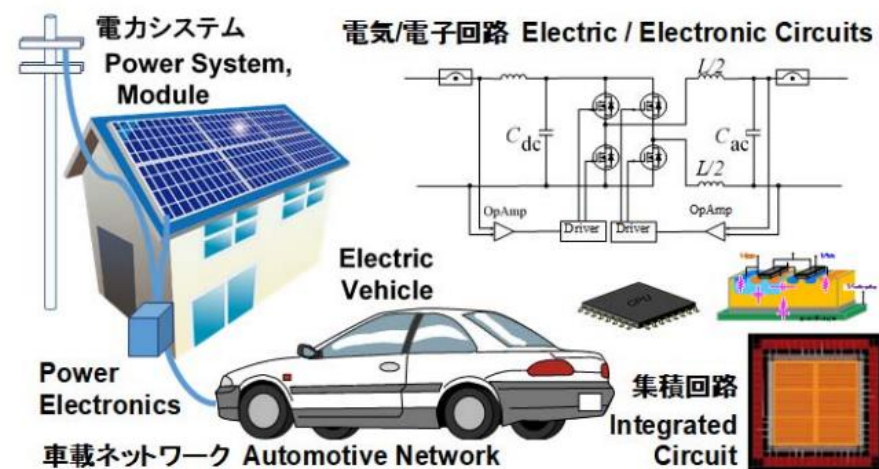
<https://www.s-ee.t.kyoto-u.ac.jp/ja>



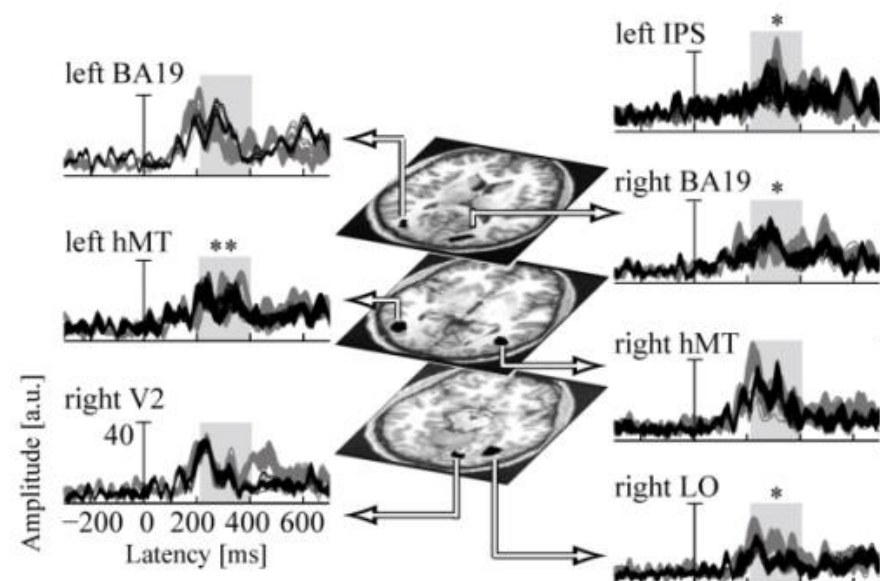
電力パケットによる高機能な電気エネルギーシステム



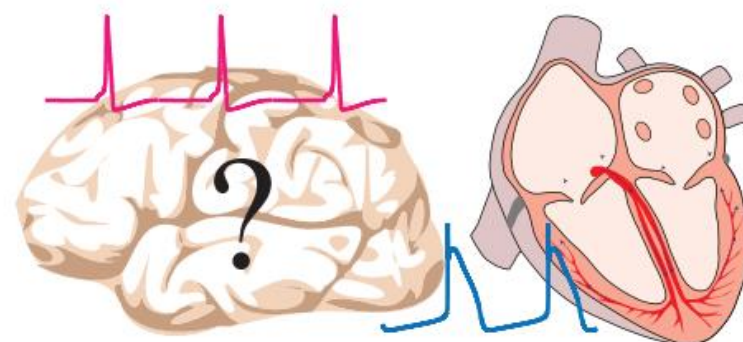
計算機電磁気学



電磁波理論と回路理論の融合・発展



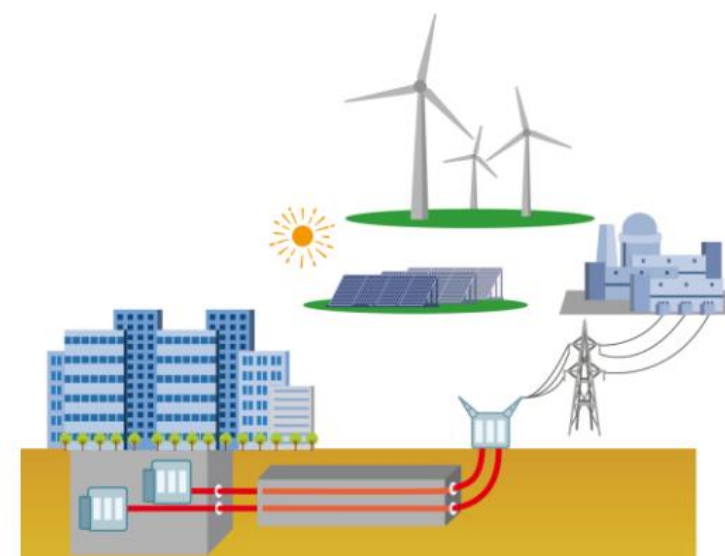
脳神経系の計測・解析、BMI



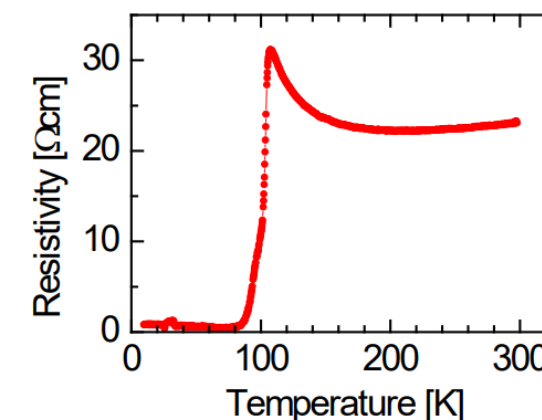
複合システムとしての生命の研究 その工学・医学への応用



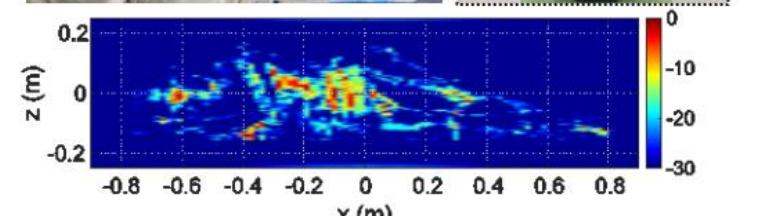
先端自動制御理論



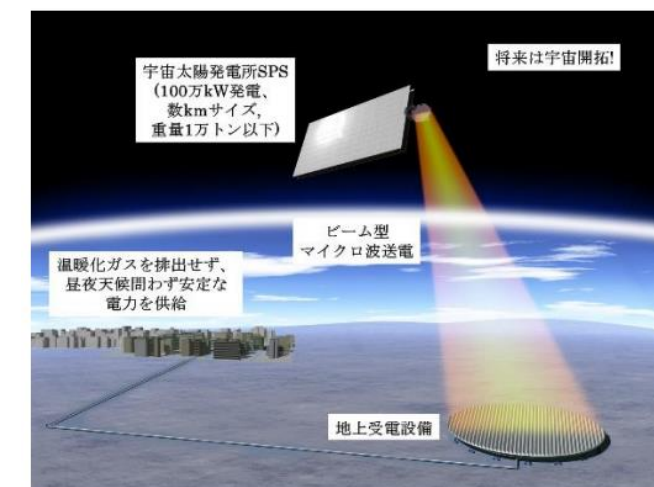
超電導電気機器



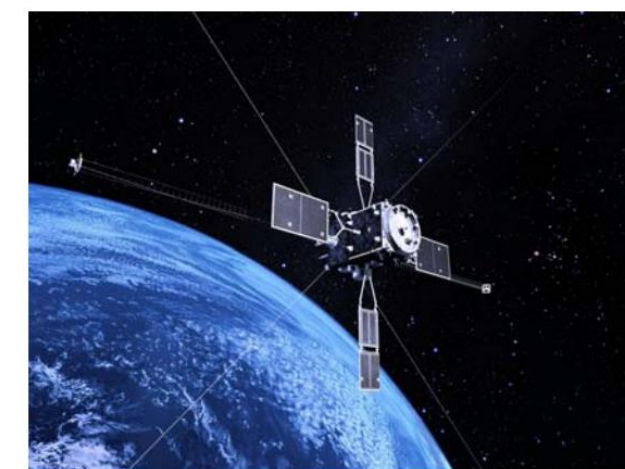
高温超電導体



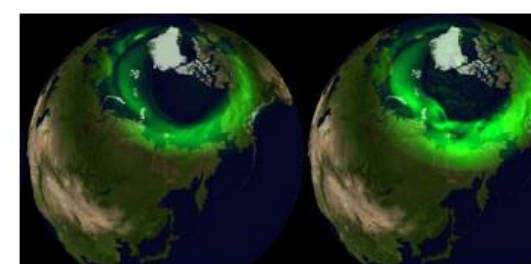
ワイヤレス人体センシング



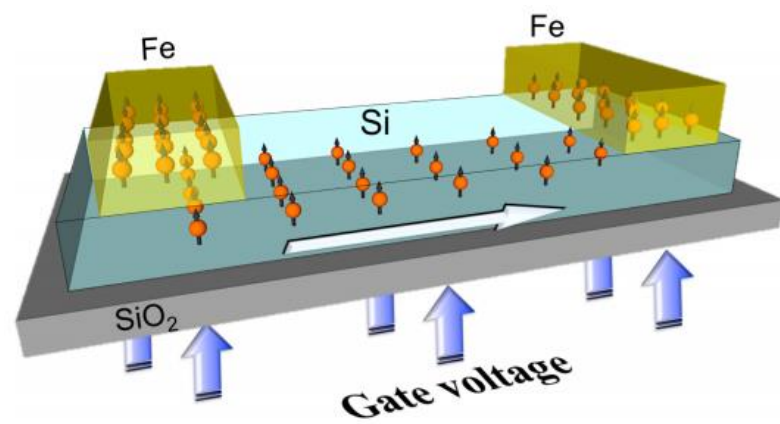
宇宙太陽光発電



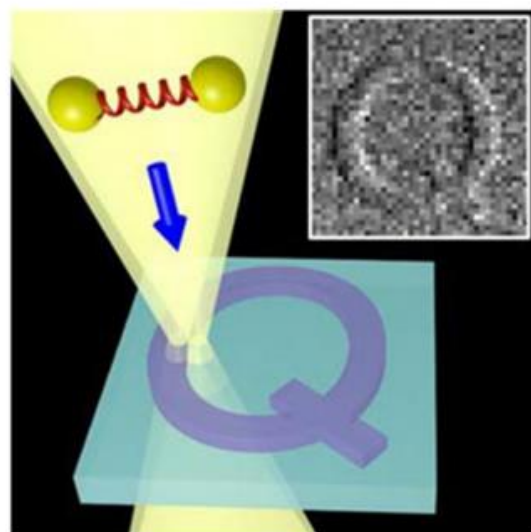
地球放射線帯の探査 [イラスト: Araseプロジェクト提供]



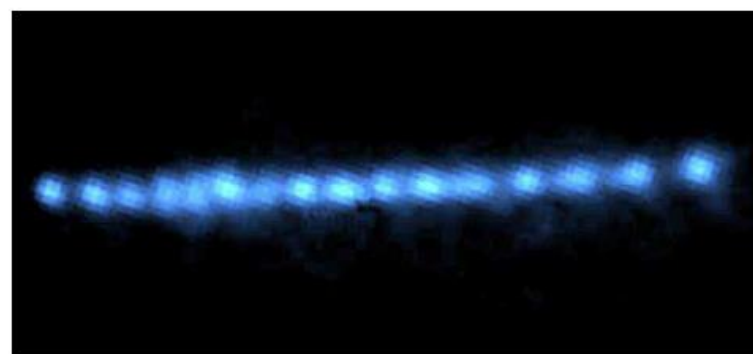
オーロラ(地磁気減少の影響の予測)



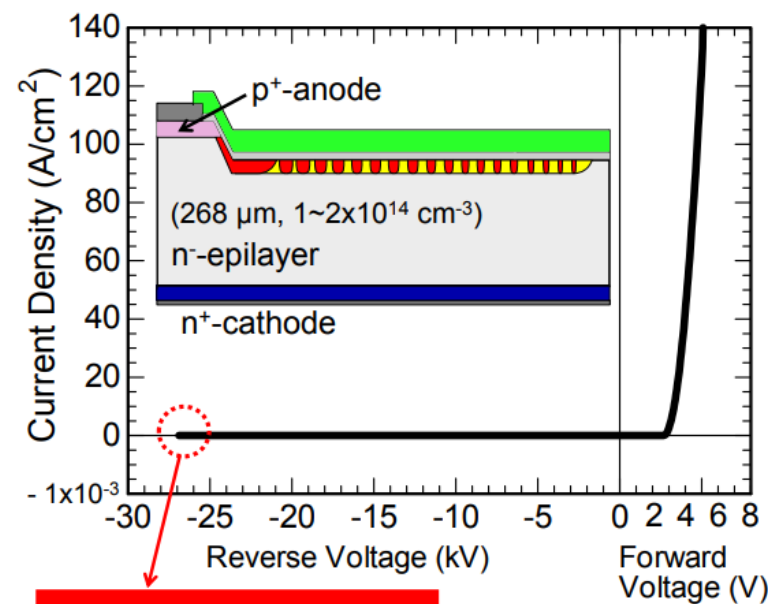
スピントランジスタ



量子もつれ顕微鏡

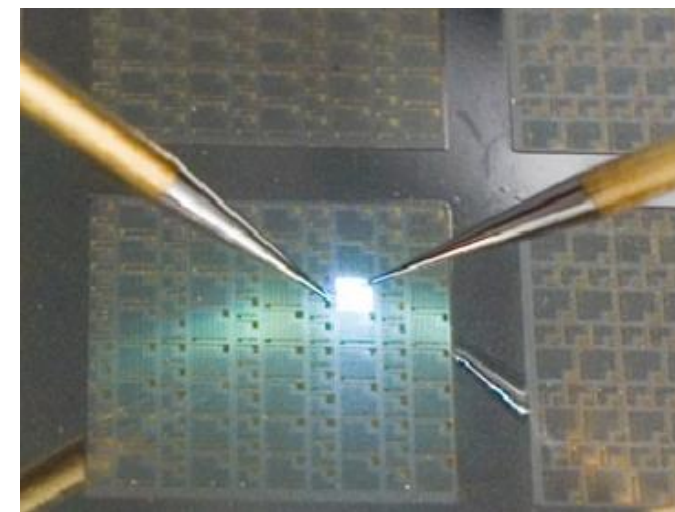


トラップされた16個のイオン
(超高精度時計、量子計算)

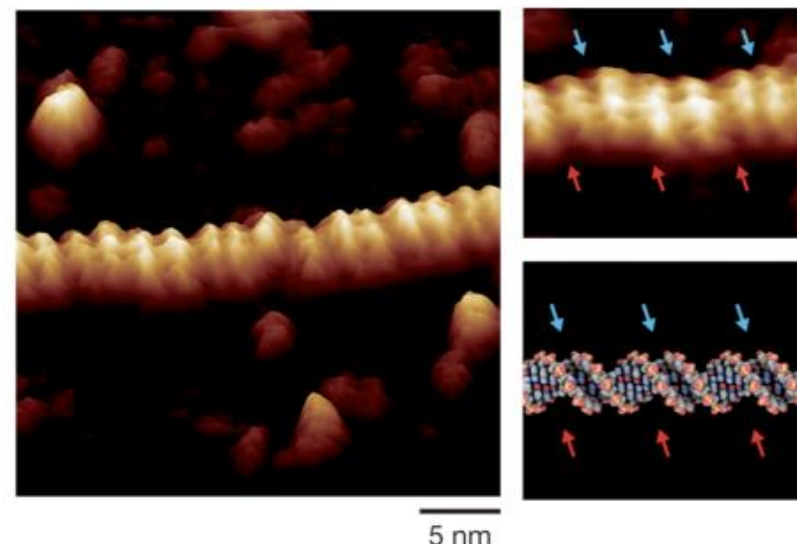


耐電圧 > 27 kV

超高耐圧ダイオード



微細3次元構造LED



原子間力顕微鏡で観測したDNA二重らせん構造

技術

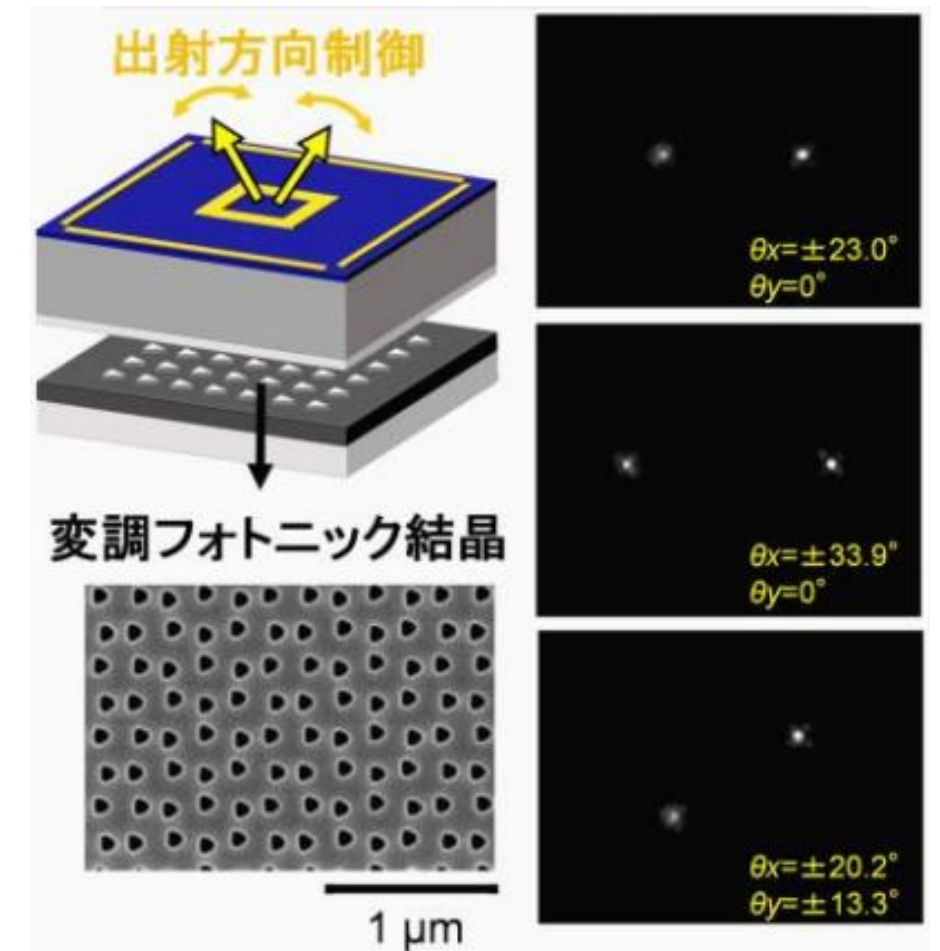


環境への貢献

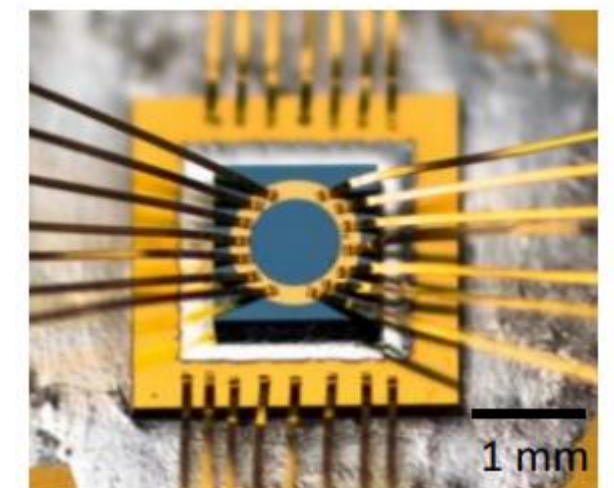
材料



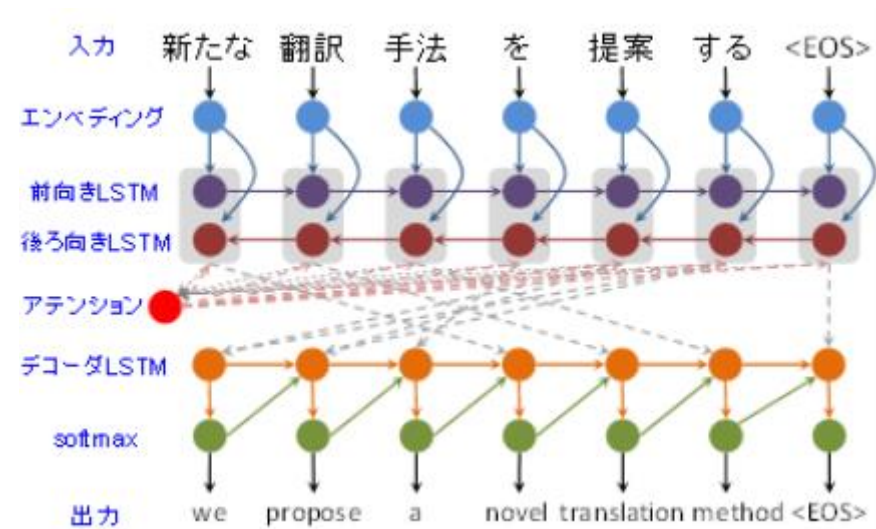
ミストCVDによる環境負荷の小さい半導体製造技術



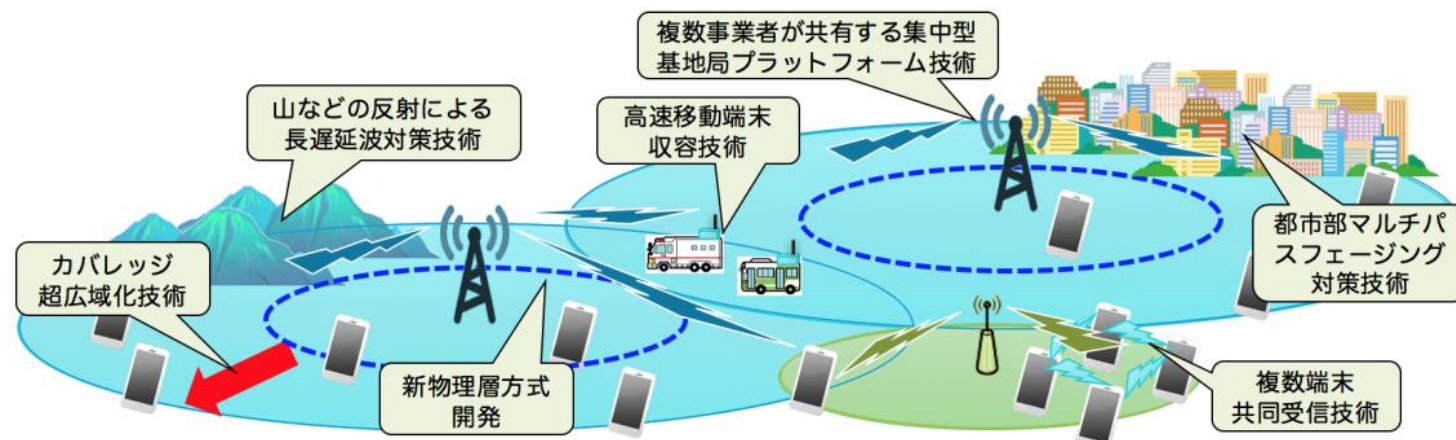
出射方向可変
フォトニック結晶レーザ



高出力高ビーム品質
フォトニック結晶レーザ



言語理解の基礎的研究



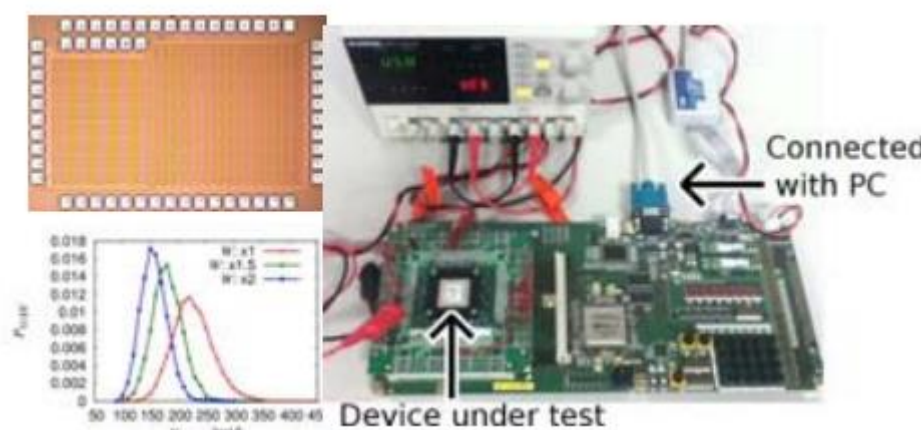
Beyond 5G/6Gブロードバンド通信システム



知的通信ネットワーク



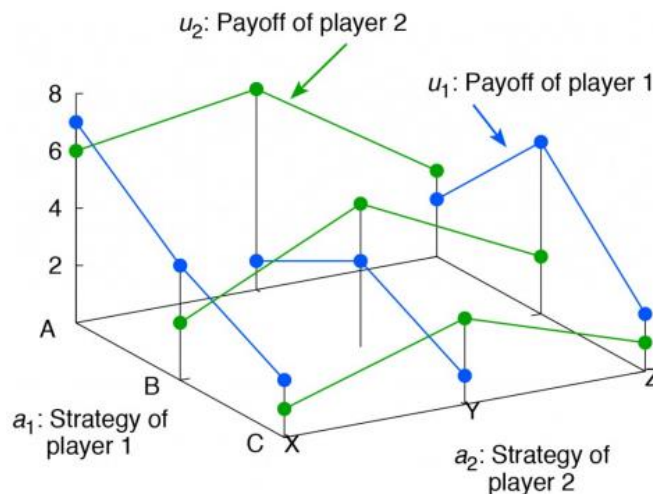
コンピュータビジョン(群衆追跡)



高信頼回路設計



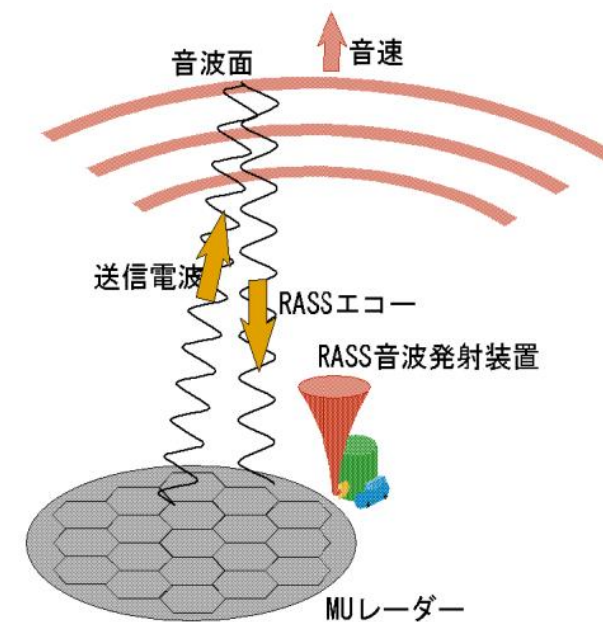
高信頼コンピューティング



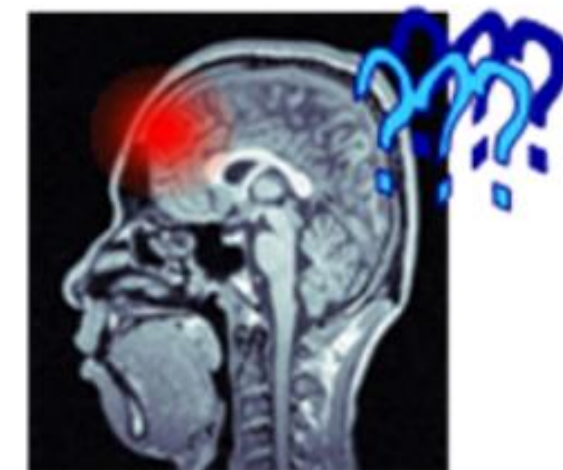
高密度無線LAN最適制御



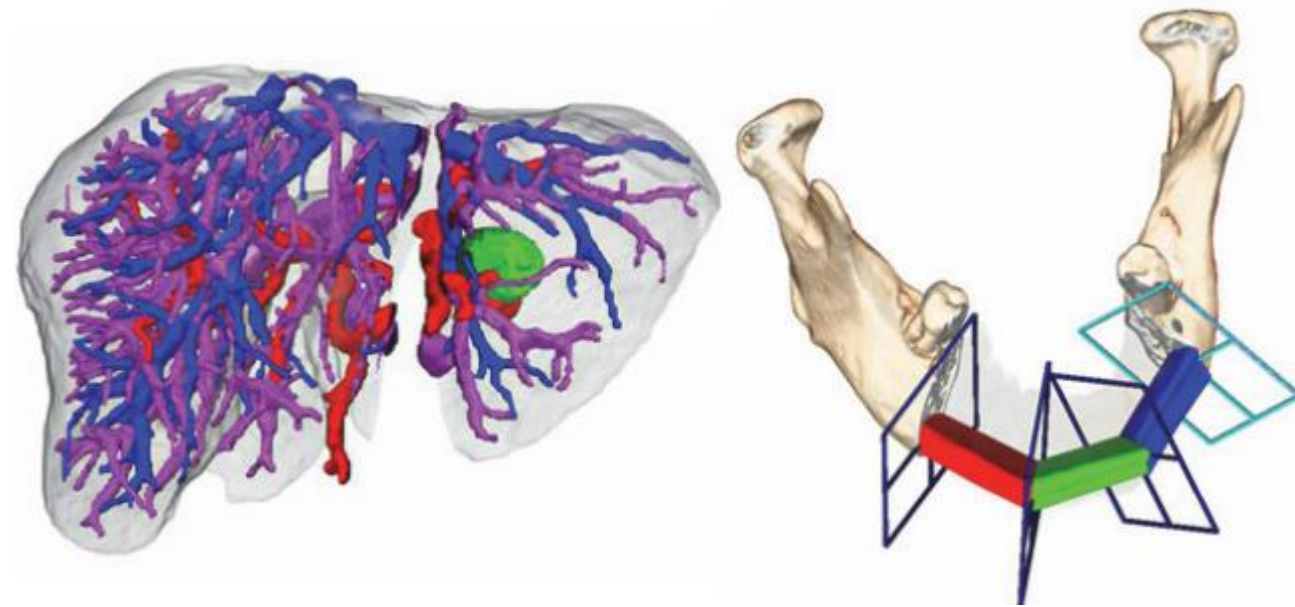
赤道大気レーダー



三次元大気計測レーダー



生命や知性のシステムの数理モデル的理解



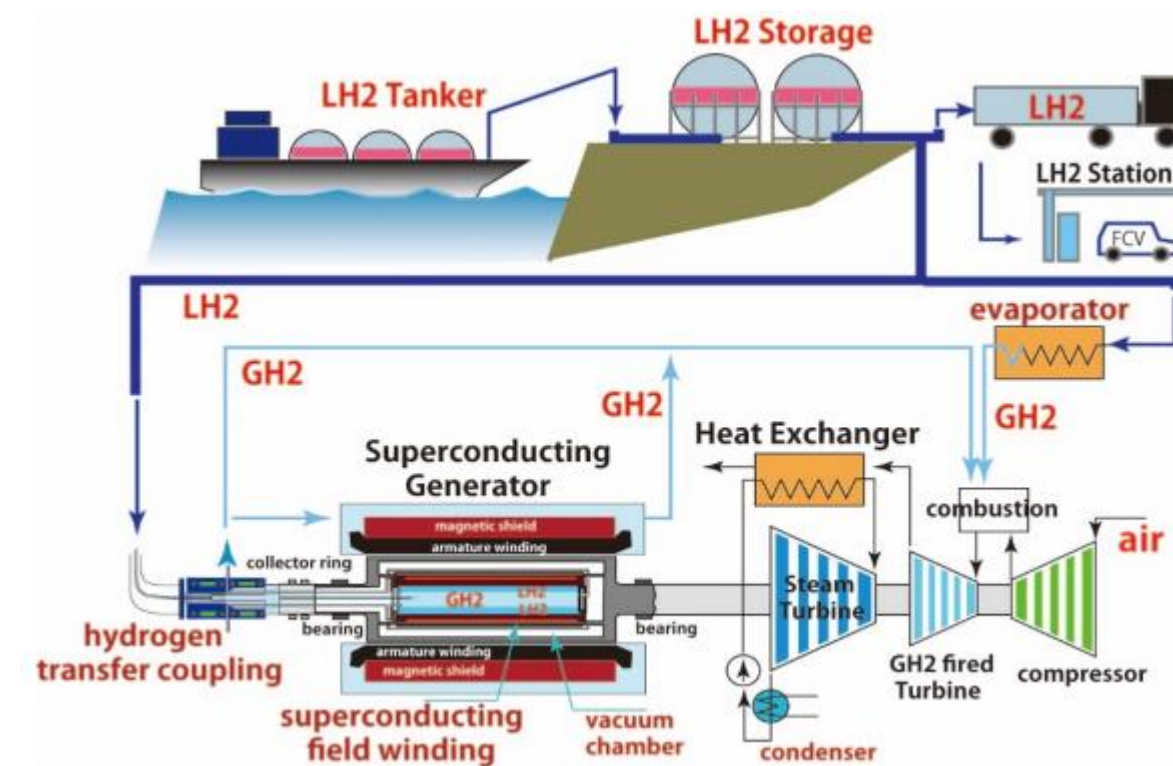
医学・医療を支える情報技術
(三次元画像を用いた手術シミュレーション)



結晶方位をそろえた高温超電導線材

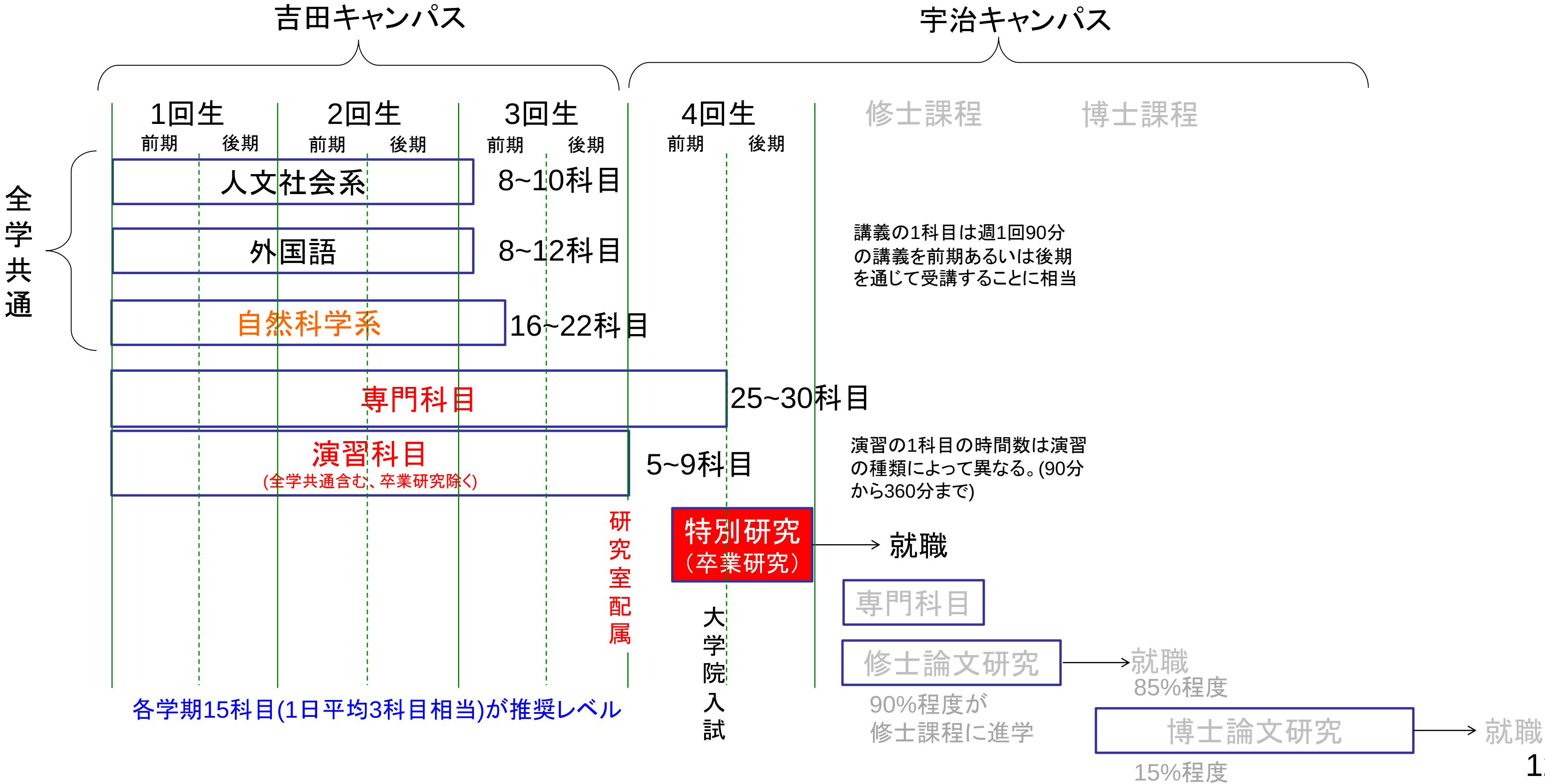


先進ヒューマンインターフェース技術
(拡張現実感、知的生産性の計測)



超電導現象のエネルギー応用
(水素ガスタービン液体水素冷却超電導発電機)

4年間の教育の全体の流れ(科目数は目安)



		1回生	
		前期	後期
全学共通科目	人文社会・語学等	人文社会科目を8科目、英語4科目、第2外国語4科目等を主に1～2回生で修了	
	自然科学系 (電気電子工学科で特に推奨している科目)	微分積分学A 線形代数学A 物理学基礎論A 自然現象と数学	微分積分学B 線形代数学B 力学続論
工学部専門科目	専門講義	電気回路基礎論 情報基礎	電気電子回路
	演習・実験 (全学共通含む)	物理学実験 (全学共通)	電気電子工学概論 情報基礎演習

1回生前期の履修登録の例

曜時限		科目名	担当教員	区分	旧群	単位数	開講期	教室
月	1							
	2	(全共)心理学II		人社群	A 群	2	前期	教育棟講義室32
	3	(全共)英語ライティングーリスニング A EW55a		外国語群	C 群	2	前期	教育棟演習室22
	4	(全共)情報基礎 [工学部] (電気電子工学科)	原田 博司	情報群		2	前期	情報基盤ビル(70)
	5							
火	1							
	2	(全共)自然地理学		人社群	A 群	2	前期	4共30
	3	(全共)微分積分学 (講義・演義) A		自然群	B 群	3	前期	共北37
	4							
	5	(工) 電気回路基礎論	久門 尚史			2	前期	電気総合館電総大
水	1							
	2							
	3	(全共)線形代数学 (講義・演義) A		自然群	B 群	3	前期	共北37
	4	(全共)物理学基礎論 A		自然群	B 群	2	前期	4共11
	5	(全共)自然現象と数学	和田 修己 他	自然群	B 群	2	前期	情報基盤ビル(70)

曜時限		科目名	担当教員	区分	旧群	単位数	開講期	教室
木	1							
	2	(全共)中国語IA (演習) C1218		外国語群	C 群	2	前期	共東22(CALL)
	3	(全共)物理学実験		自然群	B 群	2	前期	情報基盤ビル(70)
	4	(全共)物理学実験		自然群	B 群	*	前期	情報基盤ビル(70)
	5	(全共)ILASセミナー : Physical Computing 入門		少人数群		2	前期	情報基盤ビル(70)
金	1	(全共)微分積分学 (講義・演義) A (全共)線形代数学 (講義・演義) A		自然群 自然群	B 群 B 群	* *	前期 前期	共北37 共北37
	2	(全共)英語リーディング ER55		外国語群	C 群	2	前期	共北35
	3	(全共)中国語IA (文法) C1118		外国語群	C 群	2	前期	1共03
	4							
	5							

●その他(集中講義等)

曜時限	科目名	担当教員	区分	旧群	単位数	開講期	教室
集中	(工) 工学序論	太田 寛人 他			1	前期集中	京都テルサ

1 回生後期の履修登録の例

曜時限		科目名	担当教員	区分	旧群	単位数	開講期	教室
月	1							
	2							
	3	(全共)英語ライティング・リスニング B EW55a1		外国語群	C 群	2	後期	オンライン授業
	4							
	5	(工) 電気電子回路	和田 修己			2	後期	電気総合館電機大
火	1							
	2							
	3	(全共)微分積分学（講義・演義） B		自然群	B 群	3	後期	オンライン授業
	4	(全共)力学続論		自然群	B 群	2	後期	オンライン授業
	5							
水	1	(全共)国語国文学II		人社群	A 群	2	後期	オンライン授業
	2	(全共)人文地理学各論IV（地域情報）		人社群	A 群	2	後期	オンライン授業
	3	(全共)線形代数学（講義・演義） B		自然群	B 群	3	後期	オンライン授業
	4	(全共)情報基礎演習〔工学部〕（電気電子工学科） (工) 電気電子工学概論	中尾 恵 岡本 亮 他	情報群		2 2	後期 後期	オンライン授業 総合研究棟N3-1他
	5	(全共)情報基礎演習〔工学部〕（電気電子工学科） (工) 電気電子工学概論	中尾 恵 岡本 亮 他	情報群		* *	後期 後期	オンライン授業 総合研究棟N3-1他

曜時限	科目名		担当教員	区分	旧群	単位数	開講期	教室
木	1							
	2	(全共)中国語IB（演習） C1218		外国語群	C 群	2	後期	オンライン授業
	3	(全共)言学II		人社会群	A 群	2	後期	オンライン授業
	4							
	5							
金	1	(全共)微分積分学（講義・演義） B (全共)線形代数学（講義・演義） B		自然科学群 自然科学群	B 群 B 群	* *	後期 後期	オンライン授業 オンライン授業
	2	(全共)英語リーディング ER55		外国語群	C 群	2	後期	オンライン授業
	3	(全共)中国語IB（文法） C1118		外国語群	C 群	2	後期	オンライン授業
	4							
	5							

●その他(集中講義等)

[illegible]

		1回生		2回生	
		前期	後期	前期	後期
全学共通科目	人文社会・語学等	人文社会科目を8科目、英語4科目、第2外国語4科目等を主に1～2回生で修了			
	自然科学系 (電気電子工学科で特に推奨している科目)	微分積分学A 線形代数学A 物理学基礎論A 自然現象と数学	微分積分学B 線形代数学B 力学続論	微分積分学続論I 線形代数学続論 関数論 確率論基礎	微分積分学続論II 数理統計 統計物理学
工学部専門科目	専門講義	電気回路基礎論 情報基礎	電気電子回路	物性デバイス基礎論 電子回路 論理回路	電気電子数学1 電磁気学1 情報理論 半導体工学 計算機工学 電気電子計測
	演習・実験 (全学共通含む)	物理学実験 (全学共通)	電気電子工学概論 情報基礎演習	電気電子回路演習 電気電子プログラミング 及び演習	電気電子工学基礎実験

2回生前期の履修登録の例

曜時限		科目名	担当教員	区分	旧群	単位数	開講期	教室
月	1							
	2	(全共)確率論基礎		自然群	B 群	2	前期	教育棟講義室31
	3	(全共)言語I		人社群	A 群	2	前期	共西31
	4							
	5	(全共)微分積分学続論Iーベクトル解析	美船 健 他	自然群	B 群	2	前期	工学部基礎部大講義室
火	1	(工) 物性・デバイス基礎論	木本 恒暢			2	前期	総合研究4号館共通
	2	(全共)関数論	萩原 朋道 他	自然群	B 群	2	前期	数理学部基礎部大講義室(7号)
	3	(全共)振動・波動論		自然群	B 群	2	前期	4共30
	4	(全共)線形代数学続論		自然群	B 群	2	前期	情報メ地下講義室
	5							
水	1							
	2							
	3							
	4	(工) 電気電子プログラミング及演習	黒橋 禎夫 他			2	前期	数理学部基礎部大講義室
	5	(工) 電気電子プログラミング及演習	黒橋 禎夫 他			*	前期	数理学部基礎部大講義室

曜時限		科目名	担当教員	区分	旧群	単位数	開講期	教室
木	1							
	2							
	3	(工) 電気電子回路演習	下田 宏 他			*	前期	電気工学館3 電気設備設計
	4	(工) 電気電子回路演習	下田 宏 他			2	前期	電気工学館3 電気設備設計
	5							
金	1	(工) 論理回路	小野寺 秀俊			2	前期	電気総合館電総大
	2	(工) 電子回路	杉山 和彦			2	前期	電気総合館電総大
	3							
	4	(全共)精神分析学		人社群	A 群	2	前期	4共30
	5							

●その他(集中講義等)

[illegible]

2回生後期の履修登録の例

曜時限		科目名	担当教員	区分	旧群	単位数	開講期	教室
月	1							
	2	(全共)数理統計	石井 信	自然群	B 群	2	後期	オンライン授業
	3	(全共)微分積分学続論Ⅱ－微分方程式		自然群	B 群	2	後期	オンライン授業
	4	(工) 計算機工学	佐藤 高史			2	後期	電気総合館電総大
	5							
火	1	(工) 情報理論	新熊 亮一 他			2	後期	電気総合館電総大
	2	(工) 半導体工学	木本 恒暢			2	後期	電気総合館電総大
	3	(全共)外国文献研究 (全・英) -E1 : アメリカの映像文化		人社群	C 群	2	後期	オンライン授業
	4							
	5							
水	1	(全共)統計物理学	掛谷 一弘	自然群	B 群	2	後期	オンライン授業
	2							
	3	(全共)Japanese History II-E2		人社群	A 群	2	後期	オンライン授業
	4							
	5							

曜時限		科目名	担当教員	区分	旧群	単位数	開講期	教室
木	1	(工) 電気電子工学基礎実験	佐藤 丈博 他			2	後期	電気総合館電総大
	2	(工) 電気電子工学基礎実験	佐藤 丈博 他			*	後期	電気総合館電総大
	3	(工) 電気電子工学基礎実験	佐藤 丈博 他			*	後期	電気総合館電総大
	4	(工) 電気電子工学基礎実験	佐藤 丈博 他			*	後期	電気総合館電総大
	5							
金	1	(工) 電気電子数学1	大村 善治 他			2	後期	電気総合館電総大
	2	(工) 電磁気学 1	松尾 哲司			2	後期	電気総合館電総大
	3	(工) 電気電子計測	岡本 亮			2	後期	電気総合館電総大
	4							
	5							

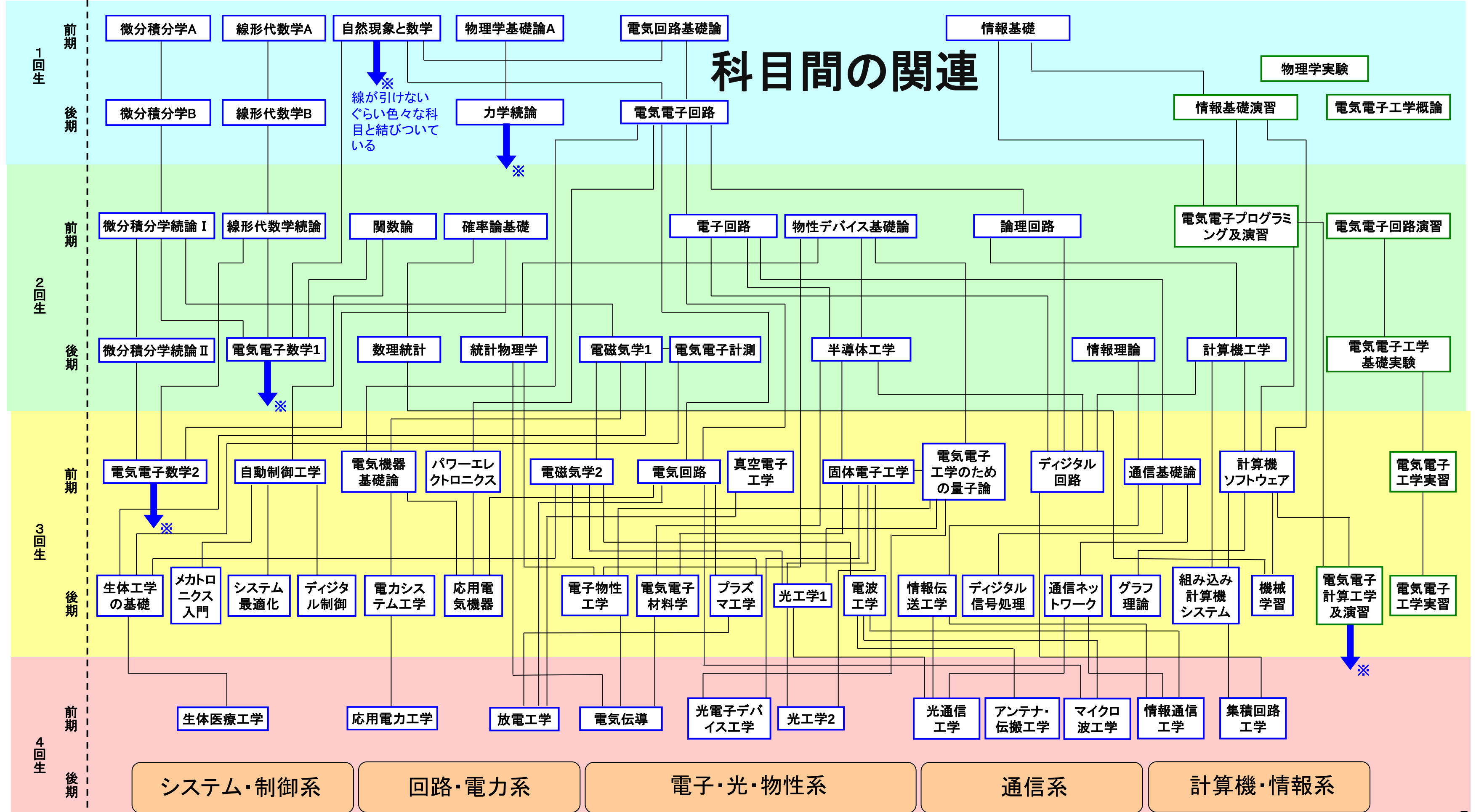
●その他(集中講義等)

曜時限	科目名	担当教員	区分	旧群	単位数	開講期	教室

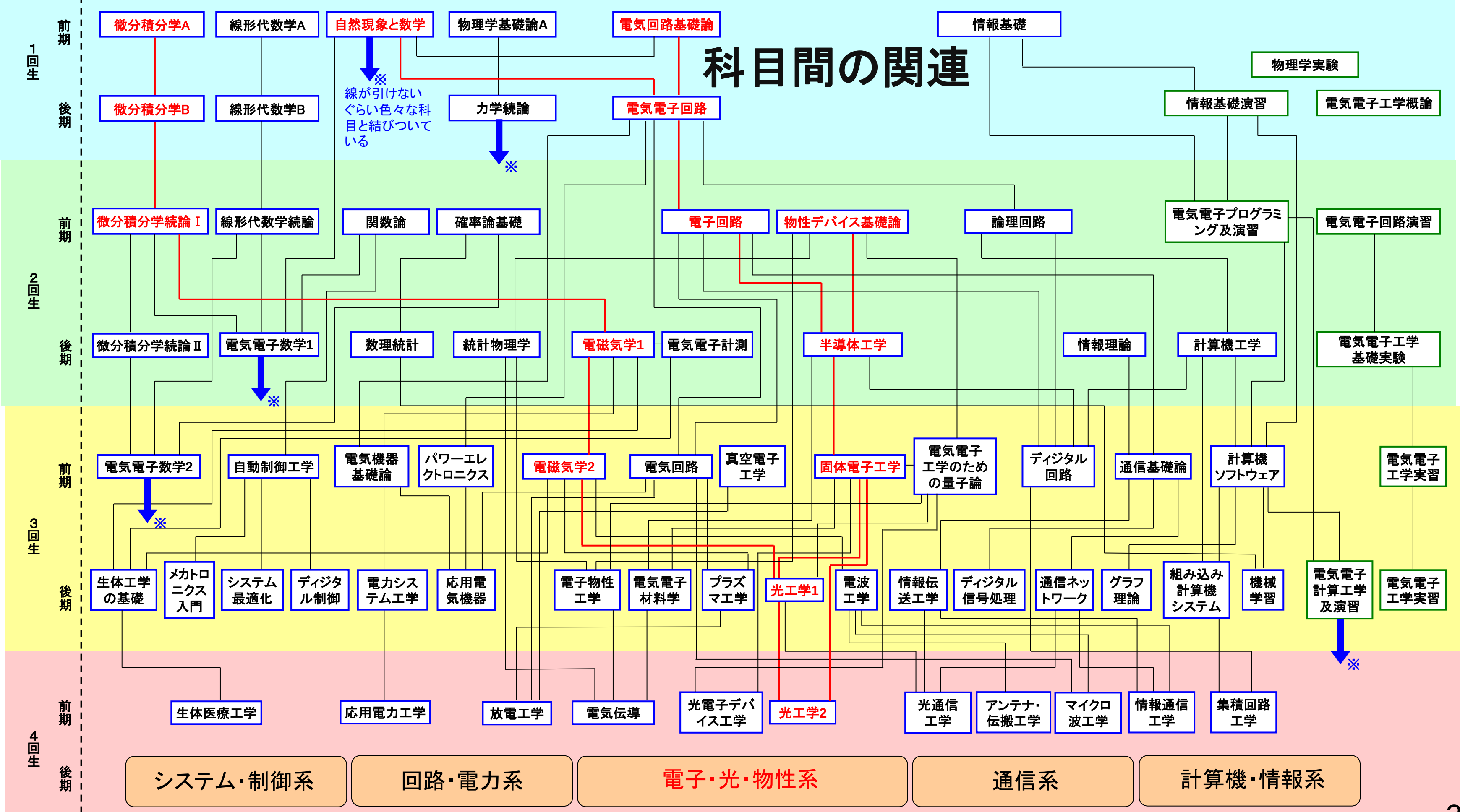
		3回生	
		前期	後期
工学部専門科目	専門講義	電気電子数学2 電磁気学2 電気電子工学のための量子論 固体電子工学 自動制御工学 デジタル回路 計算機ソフトウェア 通信基礎論 真空電子工学 電気回路 電気機器基礎論 パワーエレクトロニクス	グラフ理論 電波工学 光工学1 デジタル制御 機械学習 システム最適化 電子物性工学 電気電子材料工学 プラズマ工学 生体工学の基礎 組み込み計算機システム メカトロニクス入門 電力システム工学 情報伝送工学 応用電気機器 デジタル信号処理 通信ネットワーク
	演習・実験	電気電子工学実験	電気電子工学実習 電気電子計算工学及実習

		4回生	
		前期	後期
工学部専門科目	専門講義	光工学2 マイクロ波工学 アンテナ伝搬工学 光電子デバイス工学 電気伝導 放電工学 光通信工学 集積回路工学 生体医療光学 情報通信工学 応用電力工学 電気法規	工学倫理 電波法規
	演習・実験	特別研究 (卒業研究)	

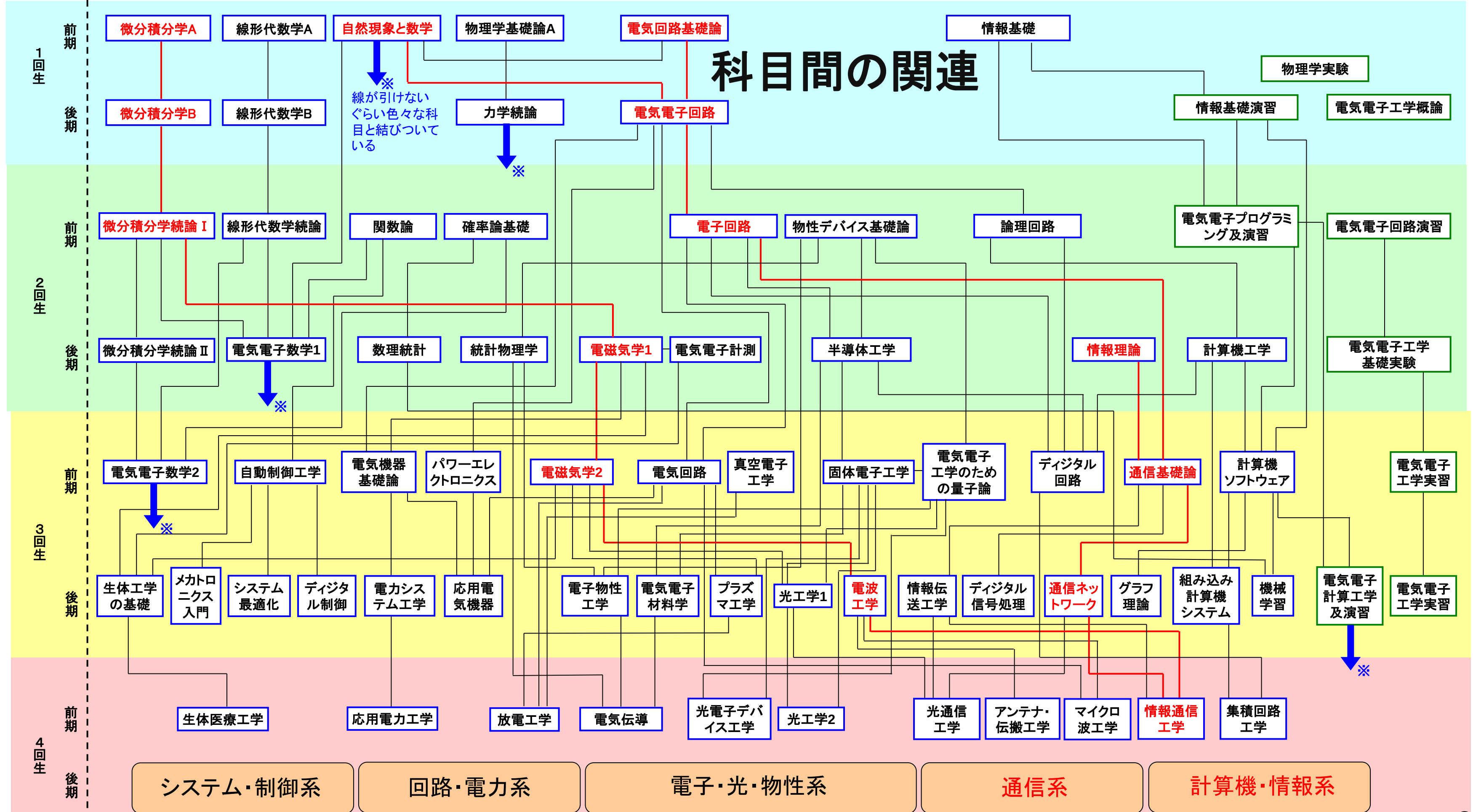
科目間の関連



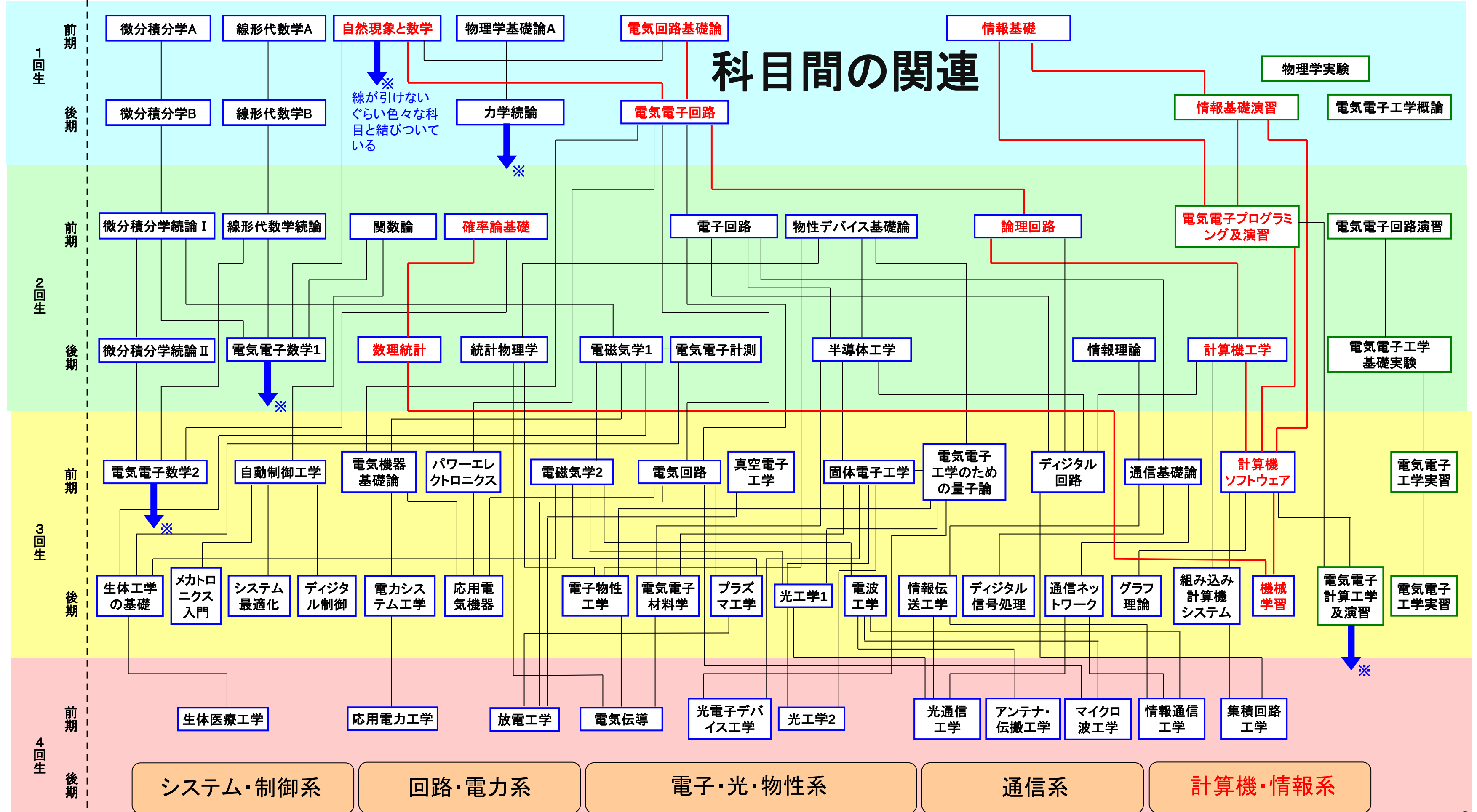
科目間の関連



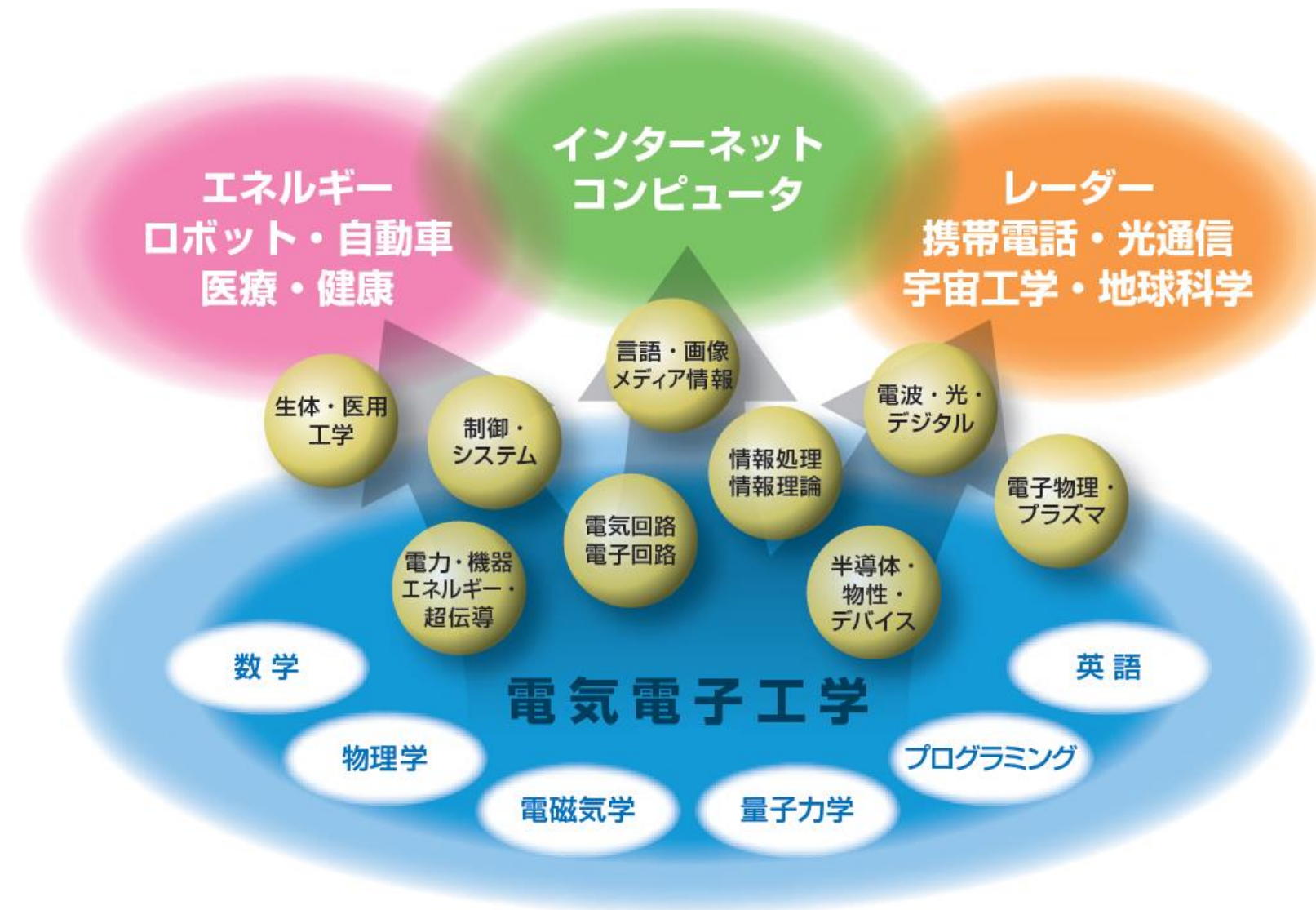
科目間の関連



科目間の関連



1～2回生に修める科目は、最終的には下記のような技術・理論の習得につながって行く重要な基礎です。



しかし、1回生の目から見ると基礎から応用への展開の見通しがつきにくいところがあります。また多様な科目の中からどれを履修するのが適切か判断に迷うこともあるかもしれません。そのため、電気電子工学科では、総合的・全体的視野を身に着けてもらい、また教員から適切なアドバイスをもらうための科目・制度があります。

- 電気電子工学概論による全体像・将来像の理解
- アドバイザー制度による個別のケア・指導
- 材料・素子・回路・システム・ソフトウェア等に渡る多様な演習

電気電子工学概論(1回生後期配当)

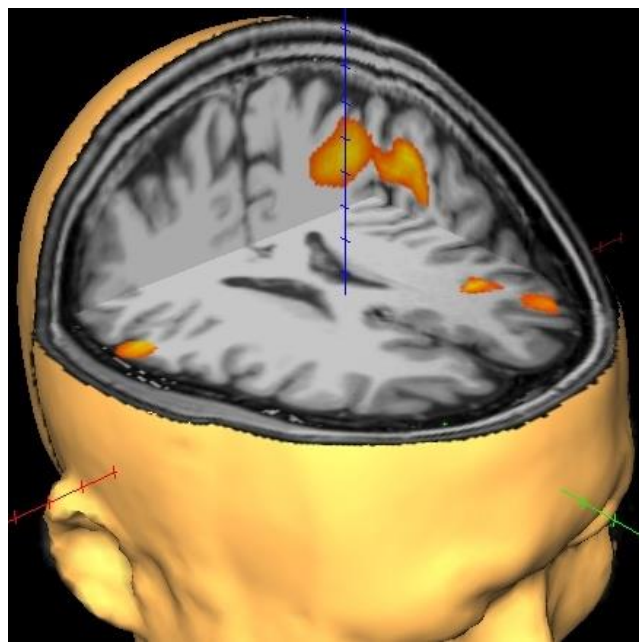
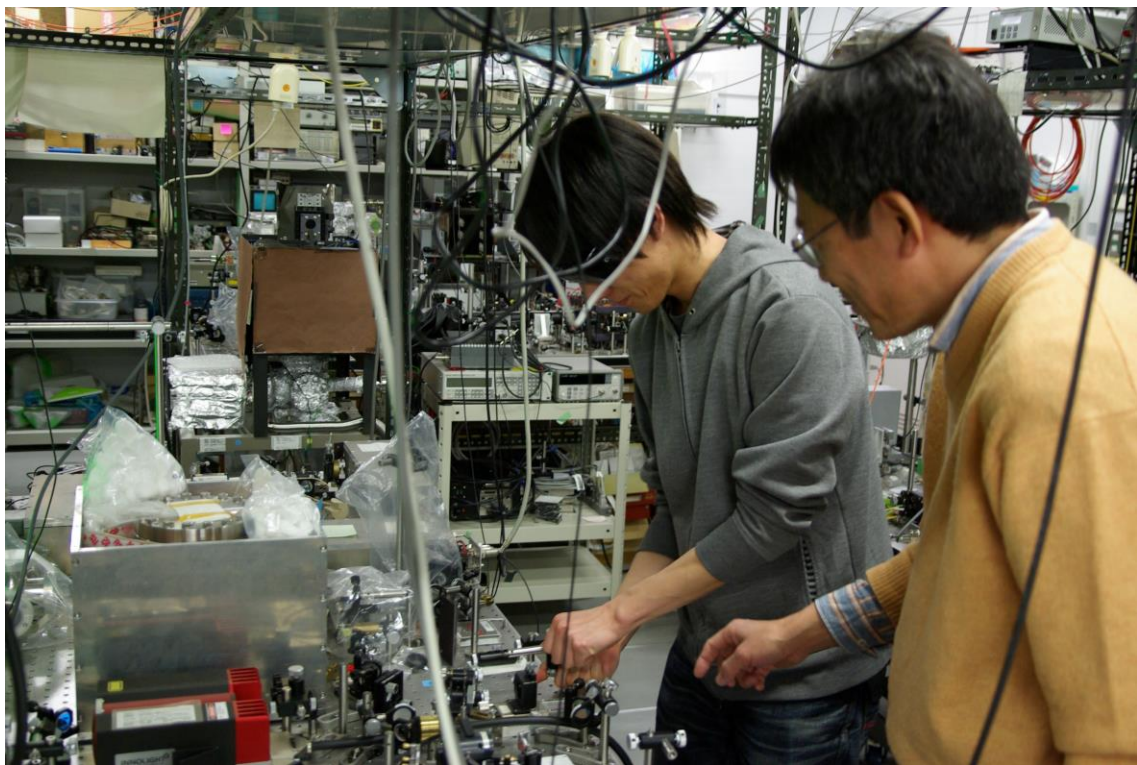
電気電子工学科の研究室で行われている活動の内容を知ることを通して、
電気電子工学とはどのような学問であるかについて学ぶ。

1. 電気系教室とその関連分野について全体的な講義で学ぶ。
2. 4人一組になって、2つの研究室(A,B)を訪問して取材する。研究室Aは1回、研究室Bは4回訪問する。研究室A,Bは別々のキャンパス。

訪問を通して、教員や先輩達(4回生・大学院生)との交流を深め、1・2回生で学ぶ基礎科目の重要性・意義などを理解する。

3. 最後に全体発表会を行って、取材で得たことを他の学生と共有する。

研究室取材のイメージ



詳しい研究内容は電気電子工学科ホームページからご覧いただけます。(https://www.s-ee.t.kyoto-u.ac.jp/ja)

またオープンキャンパス特設ページから、研究室紹介を含む様々な動画がご覧いただけます。(https://www.kyoto-u.ac.jp/ja/admissions/about/open) 27

アドバイザー制度(1～4回生)

アドバイザー指針の抜粋

電気電子工学科の全学生に対して、入学時から科目履修の選択に関わる適切な指導を与えるためアドバイザー(教授、准教授、専任講師)を定める。

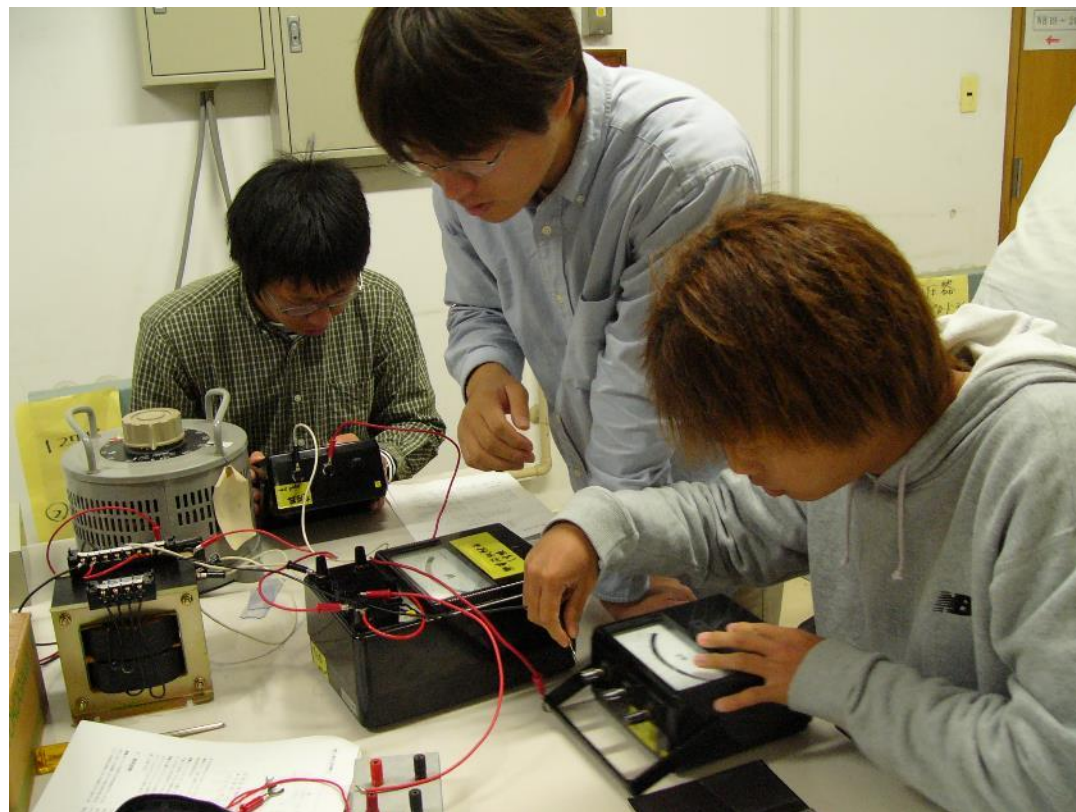
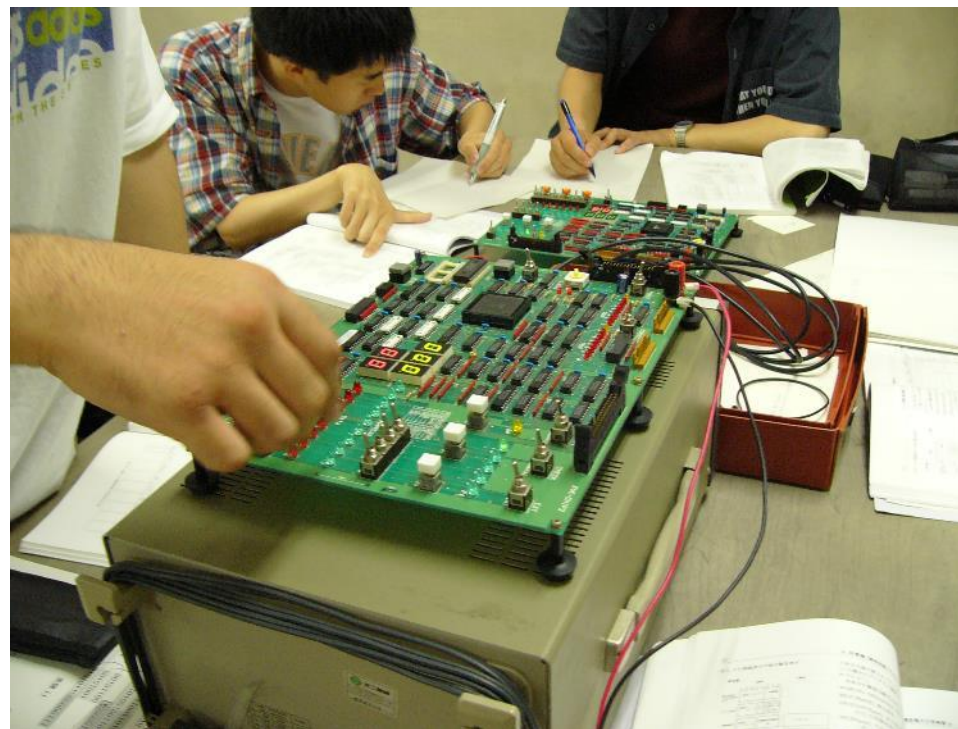
アドバイザーは科目履修の他、学生生活に関わる内容、就職や進学、その他に関するアドバイスを適宜行い、その記録をポートフォリオに残して在学中の指導資料とする。

学年進行に合わせて各自の希望する分野に向けた学習の指導を行うと共に、単位の修得状況に応じて適切な履修を行うよう指導する。

多様な実験・実習科目

- 授業で勉強した理論、知識を必ず実験・実習で体得する
- 材料・素子・回路・システム・ソフトウェア等に渡る多様な実験・実習
- 授業で習った知識を実践して行くことで、理論から応用に渡る全体像が見えてくる
- 1回生：自然現象と数学，情報基礎演習，物理学実験
- 2回生：電気電子回路演習，電気電子工学基礎実験，
電気電子プログラミング及び演習
- 3回生：電気電子工学実験・実習
- 4回生：特別研究
- 課外活動：サマーキャンプ（1-3回生）

学生実験や情報演習の様子



サマーキャンプ

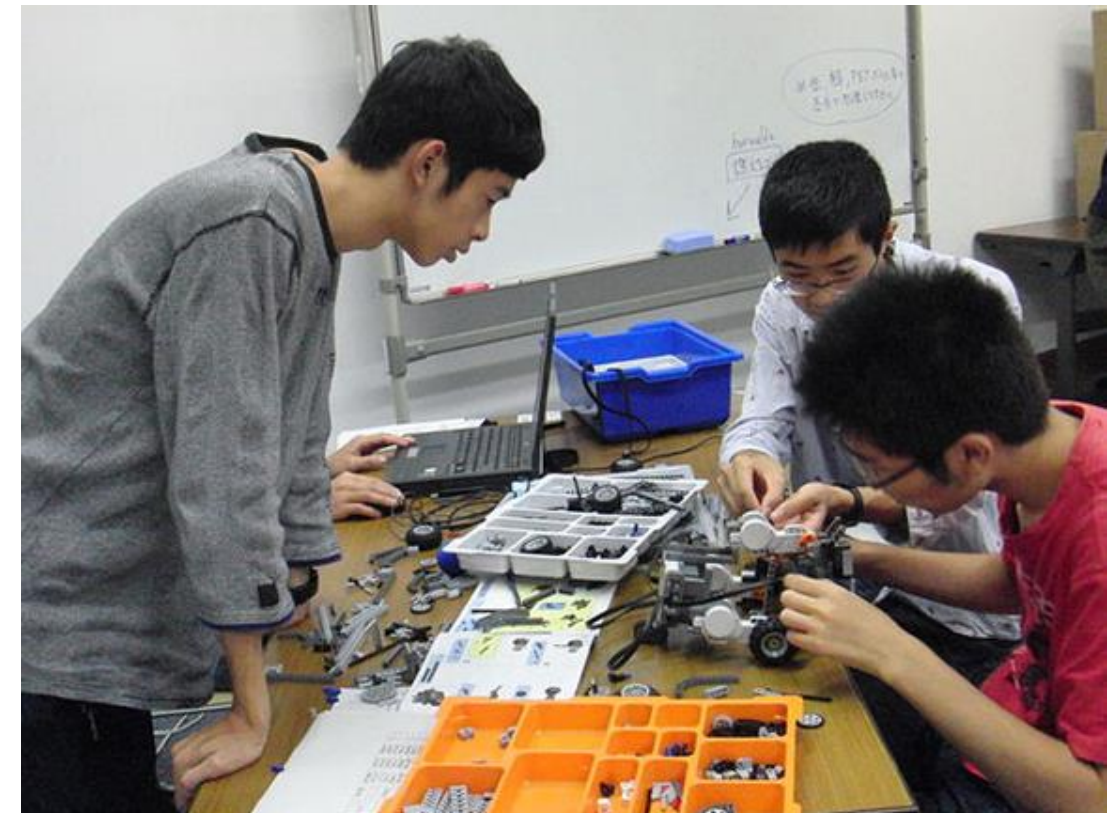
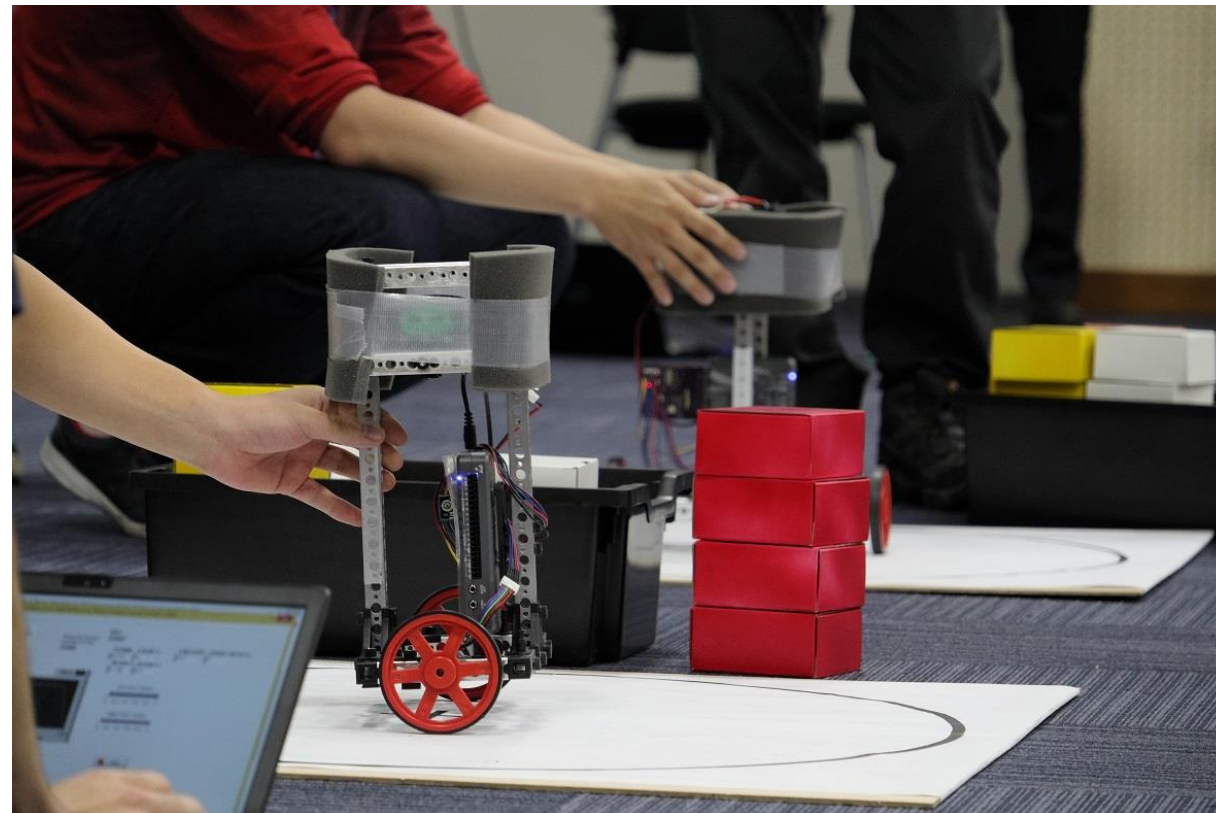
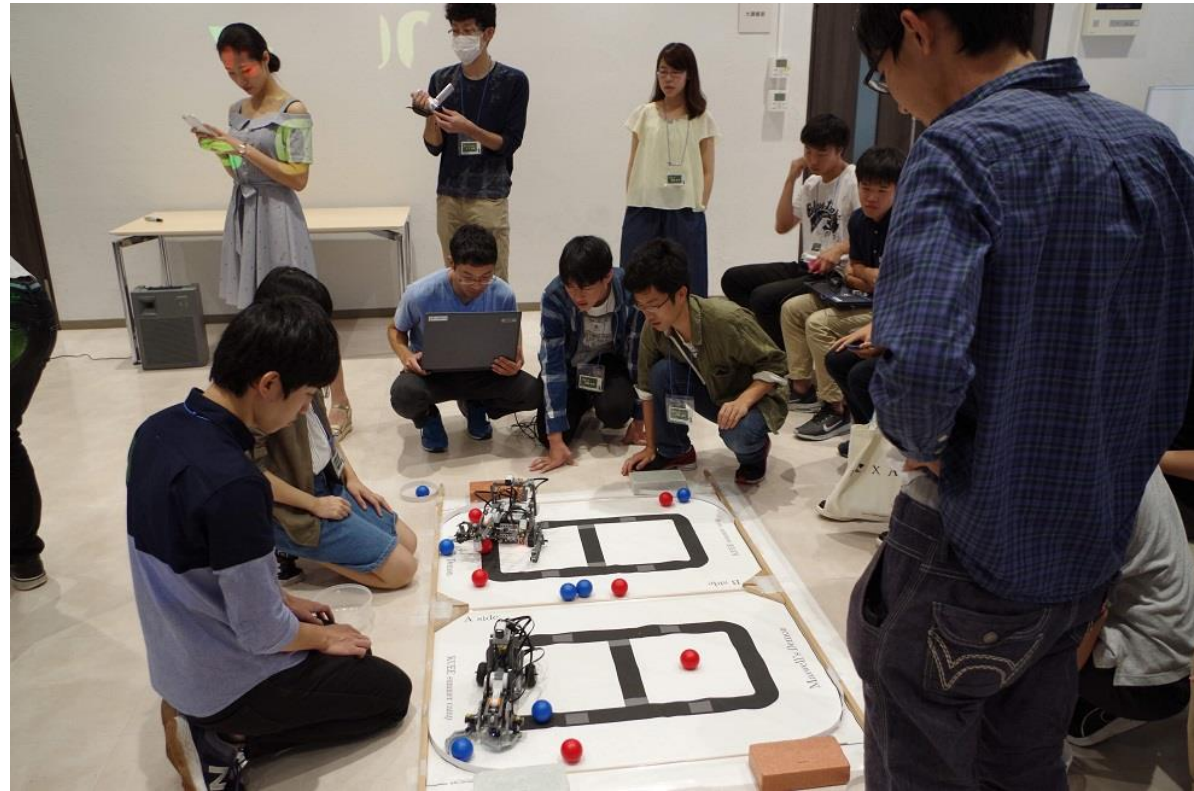
電気電子工学科の非常にユニークな課外活動の一つにエレクトロニクスサマーキャンプ(1～3回生)があります。

ロボットや電子機器の設計、製作や、ラジコン飛行船の自動制御などにチャレンジします。創意工夫や自分のアイデアが最後にしっかりと形になる楽しさを感じ取ります。皆さんが学んだ専門科目を実践で使える時です。

みなさんの先輩にあたる4回生や大学院生がティーチングアシスタント(TA)としてサポートをします。TAの多くも学部生時代にサマーキャンプに参加したメンバーですから、みなさんの気持ちをよく分かっています。

各回生のプロジェクトはコンテスト形式となっており、最終日のコンテストで優秀チームは表彰され、また、電気電子工学科の同窓会である[洛友会](#)から賞品が授与されます。

サマーキャンプの様子



電気電子工学科の理念と教育方針

電気電子工学科の理念は、「21世紀のエネルギーと情報社会をハードとソフトで支える」ことです。この理念に従って、電気電子工学科は電気電子工学の急速な進歩と高度情報社会に対処できる**幅広い専門知識**を教授して、**十分な基礎学力を修得した人材を育成すること**を目標としています。

このためには、幅広い分野の専門的な知識・能力を有し、目的に合った**理論を深く追求するとともにその実際的な応用を探求**できる研究者・技術者、その逆に実際的な**応用研究からその奥にひそむ理論の構築**ができる研究者・技術者を養成することが必要です。

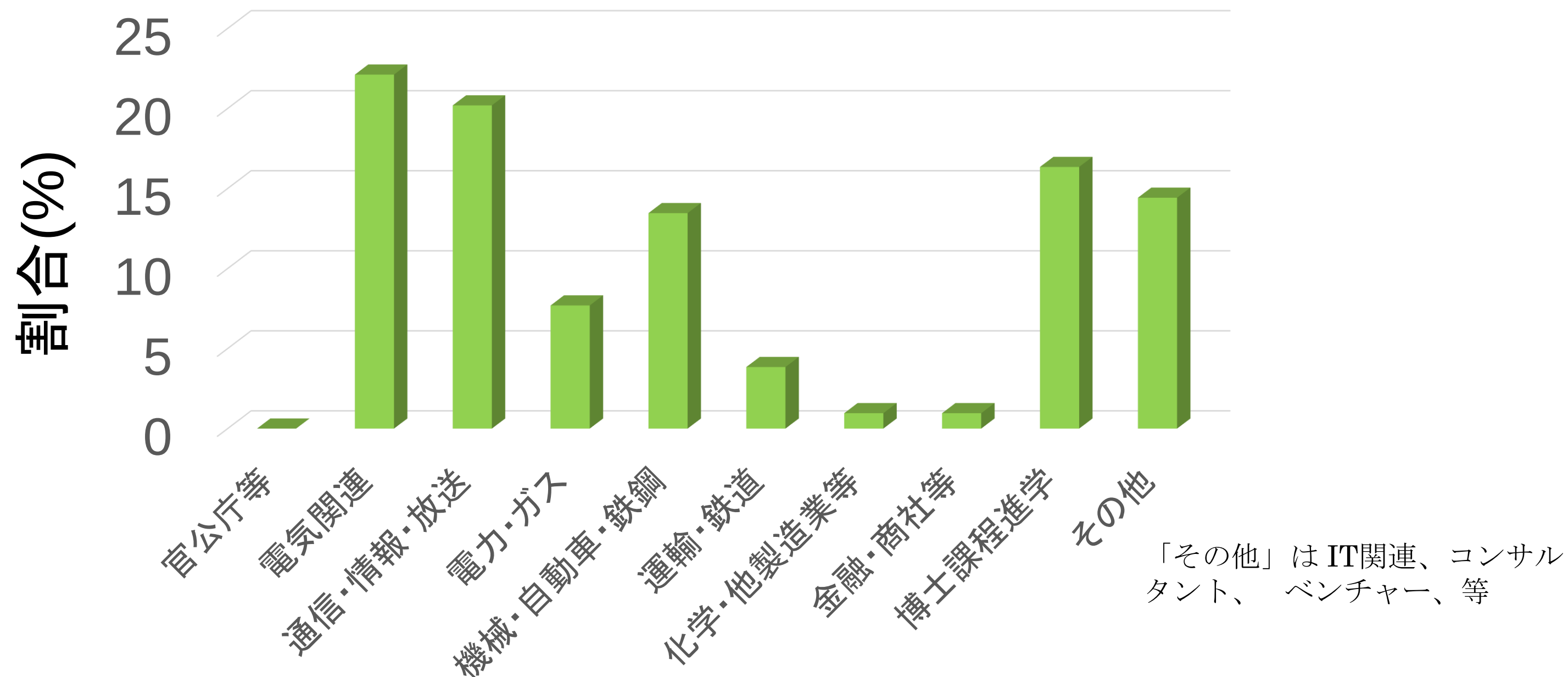
特に学部教育においては、**系統的な専門的基礎知識の修得と、その総合による論理的思考力、応用力、問題解決能力を養うことに重点を置いています。**

教育方法に関しては、**講義内容をより深く理解させるために演習、実験、実習を実施し、学生の専門領域に対する興味を喚起すると同時に、幅広い専門知識を修得させるために、自らが考える自主的な学習を促すこと**を目標としています。

卒業生(修士課程)就職先・進路

(修士課程進学率が90%以上と高いので、修士課程の就職先・進路を表示)

令和2年



分野

(電気工学専攻・電子工学専攻・情報学研究科通信情報システム専攻のみのデータ)

学科ホームページには具体的な企業名等が記載されています。 https://www.s-ee.t.kyoto-u.ac.jp/ja/admission/next_stage

先輩・卒業生から受験生へのメッセージ(抜粋)

Aさん:

電気電子工学科では、電気、電子、情報と幅広い分野の講義を受講しました。会社に入ってから他大学出身の方と話をしていても、京都大学の電気電子工学科ほど幅広く科目を受講する学科は少ないと感じます。実際の製造業のプラントでは、講義で学ぶ理論や知識のすべてが活用されているといっても過言ではありません。学部、大学院の講義を通じてこれらの分野に対して体系的に学ぶことができたことが、現在の業務に役立っており、講義の有難みを感じています。

Bさん:

現在の仕事は、学生時代の研究テーマや知識等を直接的に活かせる仕事ではありませんが、大学院在籍時代に得た幅広い経験が非常に役立っています。自分の興味・探求心に任せて最先端の技術・物理に没頭し、仲間との研究生活をしてみたいかがでしょうか。その経験を糧に社会で活躍していきましょう。

Cさん:

電気電子工学科には最先端の研究を行っている研究室がたくさんあり、電気電子について深く学び、世界の第一線で活躍したい人には最高の環境だと思います。特に、回路やコンピュータなどの情報、通信の分野に関して言えば、ここ最近、ハードウェア、ソフトウェアの両方を扱える人材が益々貴重な存在となっており、社会のニーズも高まってきています。電気電子工学科は正にその両方について学び、研究することができる場です。

Dさん:

電気電子工学科では3年間バランス良く学んだ後で、4年目で専門性を高めていくことができます。新しいことが好きな学生は、ぜひ電気電子工学科を選んでください。そして、常に新しい情報を得るためにも、優れた国際感覚を身につけて欲しいと思います。電気電子工学科は国際感覚を学ぶ環境が非常に整っていると思います。

学生生活について(全般)

下宿するかどうか：

- 通学が片道2時間程度までなら自宅から通う学生が多い印象
- ただし通学に時間がかかると部活やサークルには参加しづらくなる

下宿探しのタイミング：

- 受験日前後で探しておさえておく方が多いが、合格発表後にキャンセルが出るのを狙うのもあり？

学費・生活費：

- 仕送り，奨学金（給付，無利子，有利子），バイト等から
- 奨学金は入学後でも探せます

部活・サークル：

- 入ると学科の外の交友関係が広がります

バイト：

- 収入目的でなく社会勉強として行う人も多いです

学生生活について(個別例1)

下宿学生(通学片道10分)の活動の例①:

1回生 サークルに2つ加入したため, 時間的制約からバイトはなし(生活費は仕送りと奨学金)

活動時間のバランスは, 勉学(大学): 勉学(自宅): サークル: その他=5:1:2:2くらい

初めての下宿では家事スキルの習得も必要です

大学の授業についていくことはそれほど難しくありません

2回生 授業が1回生の内容を踏まえたものになるため, 急に難しく感じるようになります

サークルも幹部学年になるため, 管理業務が増え, 片方を断念

活動時間のバランスは, 勉学(大学): 勉学(自宅): サークル: その他=5:2:2:1くらい

行動範囲を広げるため, バイクの免許をとったりもしました(車は1回生の夏休み取得)

3回生 2回生のときにしっかり勉強したため, 授業はそれほど苦勞をしませんでした

単位の取りこぼしがなかったため, この年は時間的な余裕がありました

活動時間のバランスは, 勉学(大学): 勉学(自宅): サークル: その他=4:3:1:2くらい

英会話やプログラミングの勉強をしたり, 企業インターンへ参加したりしました

4回生 研究室を桂に選んだため, 4月から桂へ引っ越しました

博士課程前後期連携教育プログラムを志望したため, 生活の中心が研究に

活動時間のバランスは, 研究(研究室にただいる時間も含む): その他=9:1くらい

卒業論文でしっかりした文章を20ページ書くことは大変ですがいい経験でした

学生生活について(個別例2)

下宿学生(通学片道10分)の活動の例②:

1回生 活動時間のバランスは、勉強(大学):勉強(自宅):サークル:その他=5:1:2:2くらい.
大学の授業は、専門科目は少ないためそれほど難しくありません.
夏休みには、車の免許をとりました. 早めにとった方がいいと思います.

2回生 授業は専門科目がほとんどになるため、難しくなります.
また、実験が始まるため自宅での学習時間は長くなりました.
活動時間のバランスは、勉強(大学):勉強(自宅):サークル:その他=5:2:2:1くらい.

3回生 2回生の時より専門科目の難易度が上がり、実験の授業数も多くなります.
授業は、希望の研究室を意識して選択しました.
また、大学生協の斡旋によりプログラミング関係のアルバイトを始めました.
活動時間のバランスは、勉強(大学):勉強(自宅):サークル:その他=5:3:1:1くらい.

4回生 研究室を桂に選んだため、4月から桂へ引っ越しました.
大学院に進学する予定であったので、前期の間は入学試験の勉強に集中しました.
後期は卒業論文に向けて研究が始まりますが、わからないことがあれば先生や先輩方が教えてくれるのでスムーズに進めることができました.

おわり